

# 設 計 図 書

(特記仕様書・位置図・工事数量総括表)

令和 7 年度

普 通 河 川 茂 吉 の 沢 川 改 修 工 事

---

北海道帯広市

特 記 仕 様 書

北 海 道 帯 広 市

( 都 市 環 境 部 土 木 室 管 理 課 )

2025.08

## 目

- 1 適用
- 2 土木工事積算基準等
- 3 概数
- 4 参考図
- 5 積算情報
- 6 施工条件の明示
- 7 施工計画書の作成
- 8 交通規制及び安全対策
- 9 安全訓練等の報告
- 10 用地境界標（杭）の取り扱い
- 11 段階確認事項
- 12 工事図面・工事写真の電子化
- 13 電子媒体
- 14 共同企業体編成表
- 15 工事材料品質確認願
- 16 完成届
- 17 路面樹等の施工
- 18 再生アスファルト混合物
- 19 アスファルト乳剤
- 20 コンクリート再生骨材
- 21 建設副産物（建設発主）
- 22 建設副産物（伐採・抜根・すき取り・伐開物等）
- 23 特定建設資材廃棄物の処理について
- 24 工事支障物件
- 25 工事現場発生品
- 26 雨水樹の位置表示
- 27 植栽
- 28 植生工
- 29 照明灯
- 30 大型標識
- 31 歩道の一般的構造
- 32 地上地下の既設公共施設の被害防止について
- 33 各種台帳
- 34 街路灯調査票
- 35 資材納入伝票
- 36 北海道循環資源利用促進税について
- 37 石綿障害予防規則について
- 38 工事保険の加入について
- 39 技能士の活用について
- 40 成果品等の貸与
- 41 除雪工
- 42 工事成果品収納箱

## 次

- 43 現場環境改善費について
- 44 法定外の労災保険の付保について
- 45 コンクリート構造物のひび割れ調査票
- 46 1日未満で完了する作業の積算について
- 47 区画線復旧後の交通開放
- 48 すき取り土の再利用
- 49 植生工に係る土質・土壌試験
- 50 施工歩掛について
- 51 塗膜の剥離等作業にかかる取扱について
- 52 週休2日工事の実施について
- 53 その他

## 様式

- ・ 施工計画書
- ・ 工事看板記載仕様
- ・ 工事施工協議簿
- ・ 履行報告書
- ・ 境界杭立会確認書一覧表
- ・ 境界杭立会確認書
- ・ 段階確認願
- ・ 共同企業体編成表
- ・ 工事材料品質確認願
- ・ 再生骨材の出荷確認について
- ・ 現場発生品調査書
- ・ 建設発主受入契約書
- ・ 発主受入証明書
- ・ 再資源化等報告書
- ・ 再生資源利用促進計画の作成に伴う確認結果票
- ・ 土壌汚染対策法等手続の確認フロー
- ・ 指定機械一覧
- ・ 排出ガス対策型建設機械を使用できない理由書
- ・ 送電線路付近工事協議書
- ・ 維持管理物件一覧表
- ・ 維持管理物件路線（事業）別調書
- ・ 橋梁補修台帳
- ・ 街路灯調査票
- ・ 点検記録票（総括表）道路照明施設
- ・ 点検記録票（総括表）道路標識
- ・ 技能士活用状況報告書
- ・ 社内完成検査報告書
- ・ 借受書
- ・ 返納書
- ・ 建築物等立会確認書
- ・ 産業廃棄物管理票（マネフェスト）総括表
- ・ 施工体制報告書
- ・ 伐採枝・幹材搬入伝票
- ・ 立会願
- ・ 塗装記録表
- ・ 施工実績

## 1 適用

本工事は、北海道建設部監修『土木工事共通仕様書（最新版）』（以下「共通仕様書」という。）に基づき施工するものとする。  
また、『設計図書』、『共通仕様書』及び特記仕様書に記載のない場合においては、関係する各要綱、示方書及び指針等に準拠すること。  
その適用にあたっては、その都度工事監督員と協議すること。また、施工にあたって疑義、不明な点があれば同様に協議すること。

なお、照明工については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『電気設備工事共通仕様書（最新版）』及び（社）日本電気協会内線規程専門部会『内線規程（最新版）』に基づき施工するものとする。

そのほか、帯広市道路の構造の技術的基準等を定める条例及び施行規則、帯広市道路移動等円滑化基準条例、帯広市道路標識寸法規則に基づくこと。

## 2 土木工事積算基準等

- (1) 本設計図書は北海道建設部が制定した「土木工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」及び「土木工事数量算出要領」に基づき作成している。
- (2) 「土木工事積算基準」において定められている諸基準を次のとおり扱っている。
  - ① 機械施工と人力施工等施工方法の区分は設計図面等から判断しているが、機械施工が困難である場合を除き機械施工としている。
  - ② 各基準において標準工法や標準機種が定められている場合、別途特記仕様書等で明示している場合を除き、標準工法・機種で積算している。
  - ③ 上記①②については受注者の任意施工を拘束するものではない。ただし、現場条件等によりこれにより難しい場合は、必要に応じて設計変更する。
- (3) 「土木工事工種体系化の手引き」において定められている事項については、規格・摘要欄に明示した内容に変更が生じた場合は、必要に応じて設計変更とする。

### 3 概数

- (1) 「概数として扱う数量一覧表に示した数量」は、必要に応じて設計変更をするものとする。
- (2) この工事においては、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者が行うものとする。
- (3) 概数に係る施工にあたっては、施工図面・数量計算書等を作成のうえ、工事監督員と十分協議し、施工協議簿にその打合せ経過を記入すること。
- (4) 標準図は標準的な施工図または出来形を示すものであり、現地状況等に応じて受注者は十分照査のうえ実施するものとする。
- (5) 変更の必要が生じた場合は、すみやかに工事監督員と協議を行うこと。
- (6) 概数として扱う数量一覧表で示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、現地条件等によって新たに必要となる項目についても概数として扱うことがある。
- (7) 建設副産物の概数について
  - ①解体・破碎費・運搬費
    1. 構造物等の寸法を実測し算出した体積とする。計測した写真を提出し協議すること。
    2. 構造物等の寸法実測が困難で体積・重量算出が不可能な場合（構造物等の形上が不定形な場合等）は産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表の数量から単位体積質量により換算して算出する。
    3. 構造物等の寸法が実測されていない②以外の工種について、産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表の数量から単位体積質量により換算して算出するが、過大な出来形に対しては変更しない。
  4. 舗装厚の実測方法  
各舗装構成を1施工箇所として施工延長20mにつき1箇所、施工延長が60m未満のものは3箇所、舗装厚を実測し平均値を算出する。  
舗装厚を実測する際は、舗装を直接計測すること。  
撤去舗装面積について設計と差異があり変更を必要とする場合は、施工前に工事監督員と現地立会を行い、変更資料を提出し協議すること。
  - ②処分費
    1. 産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表を提出し協議すること。処分数量から概数確定を判断するが、過大な出来形に対しては変更しない。  
産業廃棄物管理票（マニフェスト）及び検量書について工事監督員から指示を受けた場合、提出すること。

## 5 積算情報

本工事の予定価格算出の基礎となる積算基準日及び積算工期は下記のとおりである。

- (1) 積算基準日 令和 7 年 9 月 1 日  
積算工期 令和 7 年 10 月 7 日 ～ 令和 7 年 12 月 25 日
- (2) 積算工期には、準備期間( 日)、後片付け期間( 日)のほか雨天、休日等(日曜日、祝日、夏季休暇、年末年始休暇及び作業期間内の全土曜日を含む。)を見込んでいる。

## 7 施工計画書の作成

- (1) 受注者は、契約後すみやかに公示用設計図書の検討、基本的な測量による現場確認、関係機関への届け出、工事監督員との打合せを行うこと。
- (2) 特記仕様書に記載のある条件明示の項目について、全て現地等と適合するか否か確認し、施工計画書に図面を含め詳細(管理者名、会社名、住所、距離及び受け入れ条件等)に記載すること。設計図書と現地等において相違が確認された場合は、直ちに工事監督員に報告し、必要に応じ協議すること。
- (3) 施工計画書を提出し、確認を受けるまで工事に着手(物理的な行為)してはならない(測量、調査は除く)。ただし、工事監督員の承諾を得た場合は、この限りではない。
- (4) 施工方法には、具体的な作業手順、具体的な作業方法、当該工事で留意すべき事項等、共通仕様書に準じて記載すること。(掘削方法、転圧、敷均し方法、構造物の施工方法、工作物の撤去方法、仮設の方法等)
- (5) 出来形管理基準、品質管理基準及び写真管理基準は、共通仕様書に準じた管理基準のほか社内管理基準についても明記すること。また、どこの箇所(測点等)でどの程度実施するのか予定箇所等を記載すること。
- (6) 品質管理基準は、小規模な工事以外は関連項目を全て満足するよう、試験方法品質管理基準項目及び実施項目については工事監督員と協議のうえ記載すること。
- (7) 特記仕様書及び共通仕様書等で指定のある段階確認及び立会については記載することとし、その他の段階確認事項について、工事監督員と協議のうえ記載すること。
- (8) 道路・河川等の公共用地の状況を記載し、道路施設等を道路区域等の用地から超えて民地等に築造しないための施工上の留意事項も併せて記載すること。
- (9) 道路交通法第7条第1項の規定に基づく道路使用許可を所轄警察署から受け、施工計画書に添付すること。

## 9 安全訓練等の報告

『共通仕様書』1-1-1-33に従い実施された安全・訓練等の状況を、開催毎の写真、出席者名簿（署名入り等）等を報告書に添付し提出すること。安全訓練の他に、災害防止協議会、安全パトロールの実施状況を添付し提出すること。KY活動や機材の点検記録等は提出を求めないが、社内で保管すること。

## 11 段階確認事項

次の時期又は工種については、段階確認を実施する。また、『共通仕様書』1-1-1-23の表1-1に示す段階確認のほかに、確認事項について工事監督員と協議すること。

- ・起工測量を行った時点。（丁張検査）
- ・路床の不陸整正が終わった時点。（路床検査：フルフローリング実施状況、基準高、幅）

## 12 工事図面・工事写真の電子化

### (1) 工事図面

- ① 記録図面の作成は出来形図と同様とし、撤去図など施工後に形態をなさないものは除くこととする。また、工事監督員が必要とする図面を作成すること。
- ② 記録ファイル形式はPDF形式とP21形式の両方とする。
- ③ PDFは設計値と出来形（朱書）の並記とし、P21については出来形値のみとする。文字化けなどが無いよう確認し記録すること。
- ④ 電子媒体索引簿（別紙様式）を作成し、媒体とともに提出すること。

### (2) 工事写真

- ① 工事写真は、デジタルカメラで撮影した全ての電子データをJPEG形式で保存し、各工種ごとにフォルダ整理すること。  
必要に応じ説明文をテキスト形式(TXT)で、説明図等をビットマップ形式(BMP)で作成し、該当する写真フォルダに格納する。  
写真枚数が多くなる場合には、サブフォルダを作成するなど工夫し管理すること。
- ② 有効画素数は300万画素程度とし、1,000万画素以上の機種については、高画質でパソコンへの負荷が大きいため、カメラの画質を300万画素程度に設定すること。
- ③ 写真の編集については原則認めないが、明るさ補正や回転・パノラマ・つなぎ写真等を行っても良い。ただし、ファイル名の後ろに補正したことと補正内容を記載すること。
- ④ その他不可視部（配筋・基礎部等）の写真は、施工状況が判断できるよう適切な枚数を格納すること。

### 13 電子媒体

電子媒体について、次に留意し提出すること。

- ① 記録媒体はDVDを基本とする。
- ② 記録内容は、工事図面及び工事写真とする。
- ③ 媒体表面に、北海道建設部制定の『情報共有・電子納品運用ガイドライン【工事編】』7. 1 2. 5. 電子媒体等の表記に基づき記入すること。

### 16 完成届

完成届の提出に際し、完成写真として着工前及びこれと対比できる完成の写真帳を提出すること。なお、写真帳には撮影年月日及び測点等を記入するものとする。

## 22 建設副産物（伐採・抜根・すき取り・伐開物等）【以下「伐根物等」という。】

- (1) 工作物の新築・改築・除去に伴う工事により排出される抜根、伐採材等の木屑は産業廃棄物とする。
- (2) 工作物の新築・改築・除去を伴わない工事により発生した抜根、伐採材、枝打ちした木、間伐材、流木等の木屑は一般廃棄物とする。
- (3) 草、笹、草の根等のすき取り物、伐開物は一般廃棄物とする。
- (4) 建設副産物(伐根物等)は、受注者において適正な帯広市内の処理施設を選定し、施工計画書に建設副産物における適正処理計画について記載すること。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、工事監督員と協議すること。

※処分場所については、受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定している。

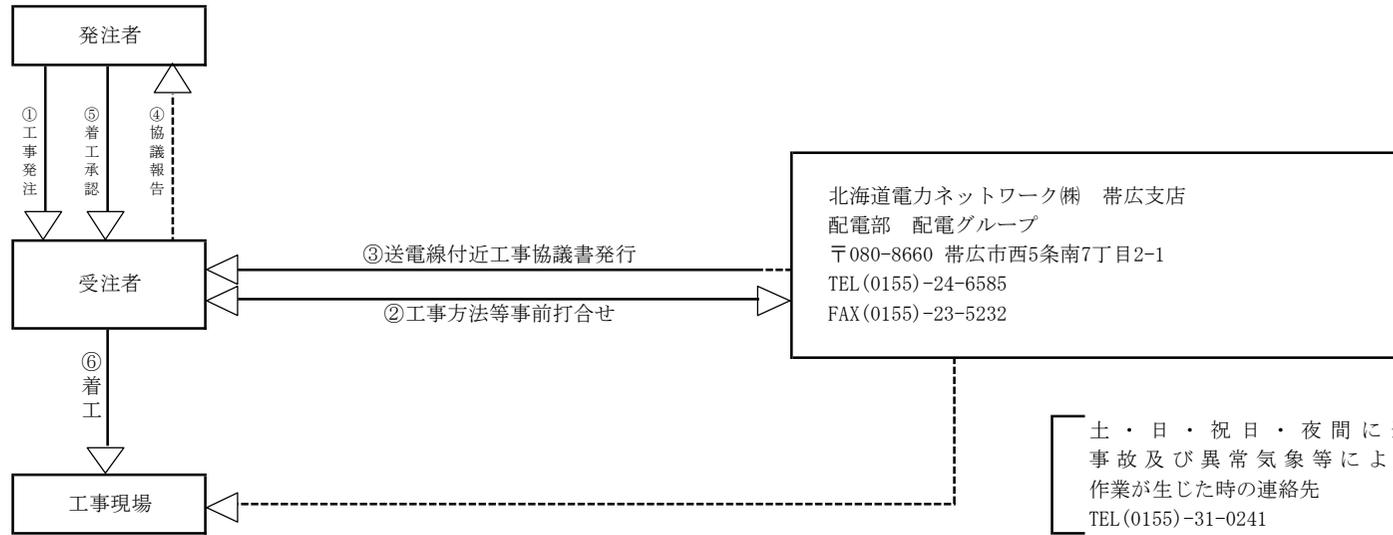
- (5) 当該工事受注後すみやかに再生資源利用計画書(様式1・イ)及び再生資源利用促進計画書(様式2・ロ)に必要事項を記載し施工計画書に添付すること。なお、再生資源利用計画書(様式1・イ)及び再生資源利用促進計画書(様式2・ロ)は、工事着手日までに工事監督員に提出すること。また、実施状況を把握し、再資源化等報告書、再生資源利用実施書(様式1)及び再生資源利用促進実施書(様式2)を作成し、工事完成後工事監督員に提出するとともに、1年間保存すること。なお、再生資源利用(促進)計画書(実施書)は、建設副産物に係わる情報入力システム(一般財団法人日本建設情報総合センターが提供する建設副産物情報交換システム(COBRIS)等)により作成すること。これにより難しい場合、監督員と別途協議すること。
- (6) 受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、産業廃棄物管理票(紙マニフェスト)または電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに工事監督員に提示すること。また、交付した産業廃棄物管理票は5年間保存すること。なお、工事完成後は産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表を作成し提出することとし、産業廃棄物管理票のA票とE票のコピーに関しては、監督員の指示があった場合に提出すること。
- (7) 一般廃棄物の収集・運搬・処分を委託する場合は、帯広市内の許可業者でなければできないので留意すること。また、一般廃棄物の許可は市町村毎なので注意すること。
- (8) 本工事で発生する伐根物等は、下記に基づき適切に処理すること。
  - ① 本工事受注者自らの車両で直接処分場へ運搬する場合、また、本工事受注者が、賃貸車両を使用し直接処分場へ運搬する場合は、運搬車両に看板等で会社名を明示すること。
  - ② 廃棄物処理業の許可を受けた者を選定すること。
- (9) 工事完成時に下記の写真及び調書を提出すること。
  - ① 運搬の状況が確認できる写真(運搬車両が確認できるもの)
  - ② 受入業者名(処分場の看板等)がわかり、搬入状況がわかる写真
- (10) 工事現場内において発生した廃棄物等が混在しないよう適切に管理するとともに、すみやかに各処理場へ搬出すること。
- (11) 有料となるものの処理費用は、本工事に含まれている。
- (12) 幹材の搬入にあたっては、別紙「幹材の搬入について」を参照し、指定伝票を監督員に提出すること。
- (13) 枝材の搬入にあたっては、指定の伝票のうち、「帯広有機西帯広牧場 ポスト投函用」は日ごとに処理場へ、「帯広市みどりの課 提出用」は、月ごとにまとめて監督員に提出すること。

### 32 地上地下の既設公共施設の被害防止について

電気、通信、水道、ガスなど社会生活に重大な影響を及ぼす既設公共施設については、特段の注意を払い工事現場の管理を行うこと。

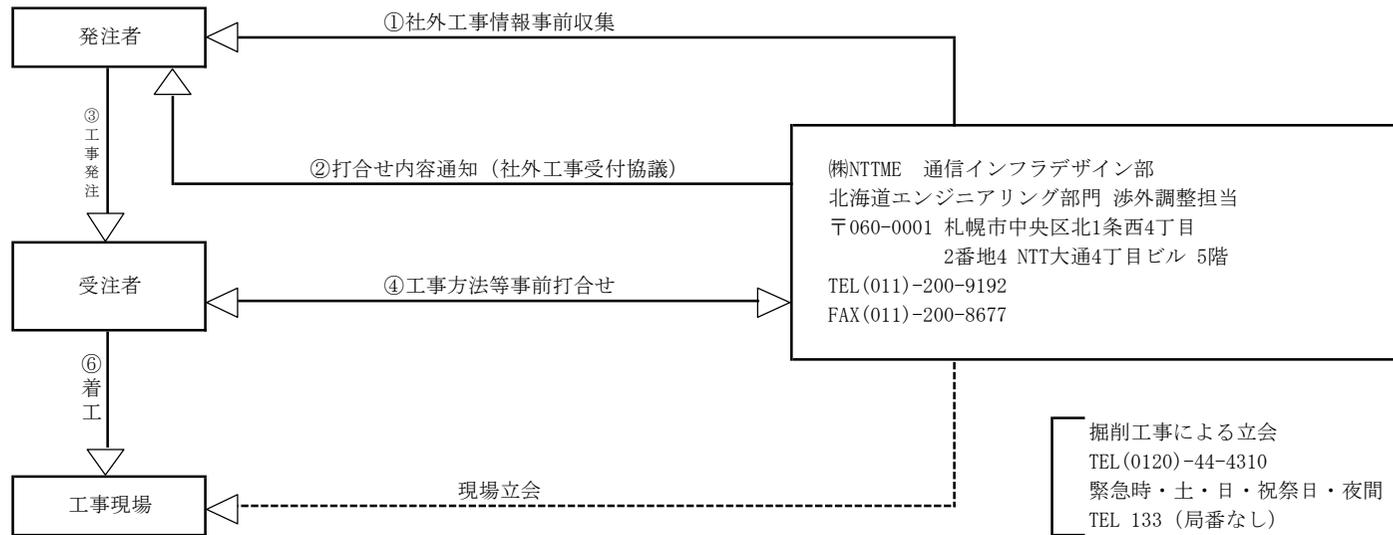
- (1) 地上地下の既設公共施設の確認  
工事着工前に、工事箇所及びその周辺にある既設公共施設の確認を確実にを行うこと。確認結果は工事監督員に報告すること。
- (2) 施設管理者との協議等  
既設公共施設の有無にかかわらず、すみやかに施設管理者と協議を行うこと。工事により施設に影響を及ぼす恐れのある場合は、施設管理者の指示を受け、その必要な保安措置を講じること。
- (3) 施工計画書の提出  
施工計画書に、施設管理者との協議、指示内容及び保安措置について具体的に記載し、工事監督員に提出すること。なお、該当施設がない場合であっても、その旨、記載すること。
- (4) 工事の着手  
施工計画書の提出及び事故防止保安措置を講じた後でなければ、工事に着手してはならない。
- (5) 北電配電線・送電線設備  
工事着工前に、北海道電力ネットワーク㈱と打合せを行い、その内容を施工計画書に明記する。
- (6) NTT通信設備  
工事着工前に、東日本電信電話㈱ 北海道東支店と打合せを行うこと。工事看板に協議済みシールを添付すること。

北電送電線に関わる協議



土・日・祝日・夜間に送電線事故及び異常気象等による緊急作業が生じた時の連絡先  
TEL(0155)-31-0241

NTT通信設備に関わる協議



掘削工事による立会  
TEL(0120)-44-4310  
緊急時・土・日・祝祭日・夜間  
TEL 133 (局番なし)

### 35 資材納入伝票

生コンクリート、路盤用骨材（切込砂利、砕石、砂、再生骨材等）及び採取土などの納入伝票は、工事監督員の確認のうえ全て受注者において保管すること。また、完了検査時には持参し検査員の求めに応じて速やかに提出できるようにしておくこと。なお、資材納入伝票の保存期間は5年間とする。

### 38 工事保険の加入について

本工事は、次に規定する保険等に加入しなければならないものとし、保険契約締結後、工事監督員に保険証券の写し（保険以外の場合には、保険証券に代わるもの）を提出すること。

#### (1) 保険等の種類

- ① 工事目的物、工事材料及び仮設物等に生じる損害を填補する保険。（土木工事保険、組立保険等）
- ② 工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補する保険。（請負業者賠償責任保険等）
- ③ 上記に準ずるその他の保険。

#### (2) 保険等の金額

- ① 請負代金以上。

#### (3) 保険等の期間

- ① 工事着手のときから工事目的物の引き渡しまでの期間

### 39 技能士の活用について

- (1) 受注者は、工事目的物の品質の向上を図るために、技能士（職業能力開発促進法に基づく有資格者）の積極的な活用に努めるものとする。
- (2) 技能士の活用の有無にかかわらず技能士活用状況報告書（別記様式）を作成し、予定については着工時に、実績については完成時に提出すること。
- (3) 技能士を活用する場合は、技能士であることを確認できる資料として、地域技能士会が発行する資格証明書、または技能検定合格書の写し、あるいは技能士手帳の写しを技能士活用状況報告書に添付すること。

#### 40 成果品等の貸与

本工事を施工するにあたり、成果品等の貸与を受ける場合は、借受書及び返納書を提出すること。

#### 44 法定外の労災保険の付保について

本工事の受注者は、下記に従い、「法定外の労災保険」に付さなければならない。

- (1) この特記仕様書における「法定外の労災保険」とは、従業員等が業務上の災害によって身体の障害(後遺障害、死亡を含む)を被った場合に法定労災保険の保険給付に上乘せして雇用者が従業員等又は、その遺族に支払う金額に対し、保険会社が雇用者に保険金を支払うことを定める契約を言う。
- (2) 受注者は、本工事の契約工期を包含する保険期間による「法定外の労災保険」(以下、「法定外労災保険」)を締結しなければならない。  
本請負工事に係る契約締結時において「法定外労災保険」の契約を締結していない場合は、工事着手の前に「法定外労災保険」を締結すること。
- (3) 受注者は「法定外労災保険」の保険証券の写しもしくは加入証明書の原本または写しを、工事着手の前に、工事監督員へ提出しなければならない。
- (4) 契約書23条に基づき本請負工事の工期を変更したことにより、工期が「法定外労災保険」の保険期間外に及んだ場合、受注者は速やかに変更後の工期による保険期間の変更又は保険の追加契約を行い、変更又は追加して契約した「法定外労災保険」の保険証券の写し又は加入証明書の原本を、工事監督員へ提出しなければならない。
- (5) 本請負工事で求める「法定外労災保険」については、保険契約に定める保険金額の多寡や特約の有無の契約内容は問わず、保険契約の事実のみ求めるものとする。

#### 46 1日未満で完了する作業の積算について(施工パッケージ)

- (1) 「1日未満で完了する作業の積算」(以下、「1日未満積算基準」と言う。)は、変更積算のみに適用する。
- (2) 受注者は、当初発注時の通常の施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、「1日未満積算基準」の適用について協議の発議を行うことができる。
- (3) 同一作業員の作業が他工種・細別の作業と組合せて1日作業となる場合には、「1日未満積算基準」は適用しない。
- (4) 受注者は、協議に当たって、「1日未満積算基準」に該当することを示す書面その他協議に必要な根拠資料(日報、実際の費用を示す資料等)を監督員に提出すること。実際の費用を示す資料(契約書、請求書等)により、当初発注時の通常の施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、「1日未満積算基準」は適用しない。
- (5) 通年の維持管理業務など人工積算を前提として積算する場合等や通常の積算方法によることが適当と判断される場合には、「1日未満積算基準」を適用しない。

## 48 すき取り土の再利用

北海道建設部「すき取り土再利用暫定基準」に準拠すること。

## 52 週休2日工事の実施について

- (1) 本工事は、「週休2日工事」の対象工事であり、当初予定価格は月単位の週休2日以上の達成を前提とした経費の補正を行っている。
- (2) 受注者は、月単位の週休2日による施工を希望する場合、契約後、発注者と協議を行い、協議が整った場合に月単位の週休2日による施工を行うこととする。なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても、通期の週休2日による施工に努めること。
- (3) 月単位の週休2日とは、対象期間の全ての月において、4週8休以上（現場閉所日数（降雨、降雪等による予定外の現場閉所日を含む。）の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態）の現場閉所を行ったと認められる状況をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では現場閉所率が28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の閉所を行っている場合に、達成しているものとみなす。

通期の週休2日とは、対象期間の現場閉所率が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。

対象期間は、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日（各種仮設物を撤去し、現場の清掃を完了した日）までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等）は含まない。

契約後、週休2日の対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議し、現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
- (4) 現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
- (5) 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
- (6) 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
  - 1) 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
  - 2) 受注者は、実施結果を発注者へ報告する。
- (7) 発注者が必要に応じ週休2日の実施状況の聞き取り等を行う場合には、受注者は協力するものとする。
- (8) 受注者が月単位の週休2日による施工を希望しない場合又は現場閉所の達成状況の結果、月単位の週休2日に満たない場合は、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費率及び現場管理費率の補正について、通期の週休2日の補正係数に変更するものとし、通期の週休2日に満たないものは、補正係数を乗じない。また、市場単価についても月単位の週休2日に満たない場合は設計変更を行う。なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については補正の対象としない。
- (9) 「週休2日工事」について、受注者を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。
- (10) 週休2日の実施計画書提出後、当該工事の全体工期に影響はでないものの、一部の施工内容・箇所に変更があり、工期内の期限を設ける必要がある場合は、対象期間外とできる場合があるので、受発注者間協議を行うこと。
- (11) その他の事項については、帯広市週休2日工事実施要領によるものとする。

# 施工計画書

令和 年 月 日

帯広市長 米沢則寿 様

受注者 住所

氏名

工事名

上記工事について、施工計画書を下記のとおり提出します。

1. 工事概要
2. 計画工程表
3. 現場組織表
4. 指定機械
5. 主要船舶・機械
6. 主要資材
7. 施工方法
8. 施工管理計画
9. 安全管理
10. 緊急時の体制及び対応
11. 交通管理
12. 環境対策
13. 現場作業環境の整備
14. 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法
15. 社内検査
16. 法定休日・所定休日
17. その他

上記工事について、施工計画書を受理しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

課長	課長補佐	係長	主任	主任	主任補	主任補

# 工事看板記載仕様

ご迷惑をおかけします

河川を  
改修しています。

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 まで  
時間帯 ○○:○○~○○:○○

工事名を標示する

普通河川 茂吉の沢川改修工事

発注者 帯広市都市環境部管理課  
電話 0155-24-4111(代表)  
0155-65-4177(直通)

施工者 ○○○○建設株式会社  
電話 ○○○○-○○-○○○○

## お願い

河川工事のためご迷惑を  
お掛けしますが、よろしく  
御協力願います。

なお、お気付きの点は  
係員にお申し出下さい。

発注者 帯広市都市環境部管理課  
電話 0155-24-4111(代表)  
0155-65-4177(直通)

施工者 ○○○○建設株式会社  
電話 ○○○○-○○-○○○○

注 : 現場に施工業者の工事作業所及び現場代理人詰所等  
がない場合は、施工会社のみの記載とする。

詳細は、北海道建設部土木工事共通仕様書による。

市街地については1/2サイズも設置可能とする。



課長	課長補佐	係長	主任	主任	主任補	監督員

### 履 行 報 告 書

工事名						
工 期	令和 年 月 日		から	令和 年 月 日		まで
日 付	令和 年 月 日		( 月分)			
月 別	予定工程 % ( ) は工程変更後	実施工程 %			備考	
(記事欄)						

(作成上の注意)

- 1 報告は、原則毎月とし、工事監督員へ提出すること。
- 2 予定工程は、初回報告時に完成までの予定出来高累計を記入すること。
- 3 実施工程は、当該報告月までの出来高累計を記入すること。
- 4 計画と実施（赤色）を対比した工程表を添付すること。

令和 年 月 日

監督員

様

(受注者名)

現場代理人

段 階 確 認 願 (第 回)

下記について、段階確認をお願いします。

記

段階確認の内容

工事名			実施希望日	令和 年 月 日		
工 種	細 目 等	品 質 規 格	区 域 等	数量等	呼称	備考

上記の段階確認について、以下のとおり実施します。

監督員

実施日時	令和 年 月 日 時から	実施者名	
実施場所	<input type="checkbox"/> 工事現場、 <input type="checkbox"/> 製作工場、 <input type="checkbox"/> (実施場所)		
実施方法	<input type="checkbox"/> 臨 場、 <input type="checkbox"/> 机 上、		
必要書類	<input type="checkbox"/> 設計図書、 <input type="checkbox"/> 測量結果、 <input type="checkbox"/> 出来形図等、 <input type="checkbox"/> 品質規格証明等 <input type="checkbox"/> 施工管理記録、 <input type="checkbox"/> 写真、 <input type="checkbox"/> (その他必要書類等)		
特記事項			

令和 年 月 日 の段階確認の結果、設計図書のとおり施工されて

いる。 いない。 詳細については、別途指示する。

令和 年 月 日

監督員

(主 旨)

本様式は、受注者が段階確認を受ける必要がある場合に工事監督員に提出するものである。

(作成上の注意)

該当する□内にレを記入すること。

# 工事材料品質確認願

令和 年 月 日

帯広市長 米沢則寿 様

受注者 住所

氏名

工事名

---

上記工事について、工事材料の品質規格証明書を別紙のとおり提出しますので、ご確認願います。

.....

上記工事について、工事材料の品質規格を確認しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

課長	課長補佐	係長	主任	主任	主任補	監督員

## 指定機械一覧

機種	規格	台数	使用工種	排出ガス対策	メーカー
			(記入例) 土砂掘削 岩盤掘削 法面整形 路盤工締固め	(記入例) 第〇次基準 排対 浄化装置付 非排対	

〈理由書例〉

## 排出ガス対策型建設機械を使用できない理由書

令和 年 月 日

(監督員) 様

(受注者名)

工 事 名			
現場代理人名			
機 械 名		規 格	
当該工事で使用できない理由 (例) 自社持機械を使用し、排出ガス浄化装置を装着するには資金不足のため			
今後の使用方針 (例) 資金調達が出来次第、排出ガス浄化装置を設置する予定 (1年後を予定)			
機 械 名		規 格	
当該工事で使用できない理由 (例) 自社持機械に対応する排出ガス浄化装置メーカーが市場にないため			
今後の使用方針 (例) 自社持機械に対応する排出ガス浄化装置メーカーが市場に追加されしだい、装着する予定			



別記様式

技能士活用状況報告書  
(予定・実績)

※予定・実績のどちらかに○をつけること。

令和 年 月 日

帯広市長 米沢則寿 様

受注者 住所

氏名

1 工事名等

工事番号	工事箇所	請負代金額
工事名		

2 技能士活用状況等

工事種別	技能士検定職種	予 定				実 績					
		技能士の活用予定の有無	当該工事に従事予定の技能士氏名(1名)及び技能士数			当該工事に従事した労働者数(実人員)					
			級別	氏 名	左の者を含む技能士数	技 能 士				技能士以外	計
工 種	該 当の有無	特級	1級	2級	左以外の級	技能士以外	計				
1 地盤改良(ウエルポイント)工	ウエルポイント施工			人	人	人	人	人	人	0 人	
2	型枠施工			人	人	人	人	人	人	0 人	
3 コンクリート工	コンクリート圧送施工 <sup>(注)</sup>			人	人	人	人	人	人	0 人	
4	鉄筋施工			人	人	人	人	人	人	0 人	
5 積ブロック工	コンクリート積みブロック施工			人	人	人	人	人	人	0 人	
6 さく井工	さく井			人	人	人	人	人	人	0 人	
7 コンクリート補修工	樹脂接着剤注入施工			人	人	人	人	人	人	0 人	
8 石積み工	石材施工			人	人	人	人	人	人	0 人	
9 植栽工	造園 <sup>(注)</sup>			人	人	人	人	人	人	0 人	
10 塗装工	塗装 <sup>(注)</sup>			人	人	人	人	人	人	0 人	
11 とび工	とび			人	人	人	人	人	人	0 人	
12 防水工	防水施工			人	人	人	人	人	人	0 人	
13 区画線工	路面標示施工 <sup>(注)</sup>			人	人	人	人	人	人	0 人	
14 上記以外の工種				人	人	人	人	人	人	0 人	
合 計				0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	

注 「コンクリート圧送施工」、「造園」、「路面標示施工」、「塗装」の4職種については、平成22年4月10日以後に入札の公告等を行う工事から、土木工事における活用状況を工事施行成績評定において評価することとしています。

【予定】記載方法等

- ※1 当該工事において、1～13に示す工事種別に該当する工種がある場合は、該当する工事種別の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。  
なお、1～13に示す工事種別に該当する工種が無い場合、又は該当する工種以外の工種がある場合は、「14 上記以外の工種」の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に、技能士を活用する予定がある場合は「○」、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。
- ※3 「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載した工種については、当該工事に従事予定の技能士の級別及び氏名を1名分記載するとともに、従事予定の技能士数を記載してください。  
なお、技能士の氏名が確定していない場合は、「未定」と記載してください。
- ※4 「14 上記以外の工種」において、技能士が従事する場合は、「技能士検定職種」欄に従事する技能士の技能士検定職種の名称を記載するとともに、上記※3と同様に記載してください。  
なお、複数の職種が従事する場合は、適宜欄を追加して記載してください。
- ※5 この報告書(予定)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事工程表と同時に提出してください。

【実績】記載方法等

- ※1 この報告書(実績)は、報告書(予定)の記載内容に追記して作成してください。その際、予定の記載内容に変更が生じた場合であっても、予定の記載内容は変更しないでください。ただし、設計変更等により新たに該当する工種が増えた場合については、「該当の有無」欄に「○」を記載し、実績のみ必要事項を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別について、その工種に従事した労働者の実人員(氏名の総数)を技能士の級別及び技能士以外に分類して記載してください。  
なお、労働者とは、常用労働者、季節労働者、それ以外の労働者のすべてが含まれます。
- ※3 この報告書(実績)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事完成通知書と同時に提出してください。



留意事項 (実績)

技能士活用状況報告書 (予定・実績)

※予定・実績のどちらかに○をつけること。

実績に「○」をつける

令和〇〇年〇〇月〇〇日

帯広市長 米沢則寿 様

最終実績の内容を忘れずに記入してください。

受注者 住所 帯広市〇〇条〇〇丁目〇〇番地

氏名 〇〇〇建設株式会社

提出年月日は必ず記載してください

1 工事名等

工事番号	〇〇〇〇	工事箇所	帯広市〇〇条〇〇丁目	請負代金額	〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
工事名	市道〇〇線道路整備工事				

2 技能士活用状況等

工事種別	当該の有無	技能士検定職種	予 定				実 績									
			技能士の活用予定の有無	当該工事に従事予定の技能士氏名(1名)及び技能士数			当該工事に従事した労働者数(実人員)									
				級別	氏名	左の者を含む技能士数	技能士				技能士以外	計				
工 種						特級	1級	2級	左以外の級							
1 地盤改良(ウエルポイント)工		ウエルポイント施工				人	人	人	人	人	人	人	0			
2	○	型枠施工	×			人	0	人	0	人	0	人	0	5		
3 コンクリート工	○	コンクリート圧送施工	○	1	〇〇 〇〇	4	人	0	人	2	人	2	人	0	4	
4	○	鉄筋施工	○		未 定	6	人	0	人	2	人	1	人	1	2	6
5 積ブロック工	○	コンクリート積みブロック施工	×				人	0	人	0	人	0	人	0	0	
6 さく井工		さく井					人							人	0	
7 コンクリート補修工	※1	樹脂接着剤注入施工					人							人	0	
8 石積み工		石材施工					人							人	0	
9 植栽工		造園					人							人	0	
10 塗装工		塗装					人							人	0	
11 とび工		とび					人							人	0	
12 防水工		防水施工					人							人	0	
13 区画線工		路面標示施工					人							人	0	
14 上記以外の工種	○		×				人	0	人	0	人	0	人	0	6	
合 計						10	人	0	人	4	人	3	人	1	13	21

合計の人数が合っているか確認してください

人数は、延べ人数ではなく、『氏名の総数』を記載します

技能士以外の労働者数も記載が必要です

【予定】記載方法等

- ※1 当該工事において、1～13に示す工事種別に該当する工種がある場合は、当該工事種別の「該当の有無」欄に「○」を記載し、当該工事種別以外の工種がある場合は、「14 上記以外の工種」欄に「○」を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士活用予定の有無」欄に「○」を記載し、技能士を活用する予定がある場合は、「技能士活用予定の有無」欄に「○」を記載してください。
- ※3 「技能士の活用予定の技能士数」を記載してください。なお、技能士の氏名が「14 上記以外の工種」欄に記載してください。なお、複数の職種が従事する場合は、各職種ごとに記載してください。
- ※4 「14 上記以外の工種」欄に記載してください。なお、複数の職種が従事する場合は、各職種ごとに記載してください。
- ※5 この報告書(予定)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事工程表と同時に提出してください。

合計の人数が合っているか確認してください

予定の記載内容は変更しない

設計変更等で工種が増えた場合のみ「○」を追加します(工種が減の場合は削除しない)

記載にあたっては、※1～※2を一読願います。

【実績】記載方法等

- ※1 この報告書(実績)は、報告書(予定)の記載内容に追記して作成してください。その際、予定の記載内容に変更が生じた場合であっても、予定の記載内容は変更しないでください。ただし、設計変更等により新たに該当する工種が増えた場合については、「該当の有無」欄に「○」を記載し、実績のみ必要事項を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別について、その工種に従事した労働者の実人員(氏名の総数)を技能士の級別及び技能士以外に分類して記載してください。なお、労働者とは、常用労働者、季節労働者、それ以外の労働者のすべてが含まれます。
- ※3 この報告書(実績)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事完成通知書と同時に提出してください。

# 社内完成検査報告書

令和 年 月 日

帯広市長 米沢則寿 様

受注者 住 所

氏 名

工事名

---

上記工事について、社内検査を行った結果、完成と認められるので報告します。

検査年月日 令和 年 月 日

検査員職氏名

立会人氏名

課長	課長補佐	係長	主任	主任	主任補	監督員

## 施工体制報告書

令和 年 月 日

帯広市長 様

受注者 住所

氏名

工事名

---

当該工事の施工体制を、別紙のとおり定めたので関係書類を添付して報告します。

## 枝と幹の搬入について

帯広市都市環境部環境室みどりの課

### 1 事業概要

搬入対象及び規格に記載の枝と幹を、畜産事業者へ売払います。枝と幹は粉碎機でチップ化し、牛舎の敷料として利用後に堆肥化することで、枝と幹の全量を再利用し、木質バイオマス利用と地域内循環を進めるものです。

事業者 株式会社帯広有機  
所在 帯広市美栄町西7線108番地1  
電話 0155-33-6511 (Fax兼)

### 2 搬入対象及び規格

市有緑地等から公共事業により発生したせん定、伐採材で次のもの（樹種は不問）

- ・枝（葉付き搬入可）
- ・幹（長さ2m以下、直径30cm以下）

※令和5年度から追加

### 3 搬入場所

西24条南5丁目（別紙「枝と幹の搬入位置図」参照）

### 4 搬入時間

8時から16時まで

（土日も搬入可能です。時間外での搬入希望は、別途事業者と相談してください。）

### 5 搬入方法

- ・別紙「枝と幹の搬入位置図」のうち、搬入場所へ直接搬入してください。
- ・搬入場所が使用不可の場合、事業者へ連絡し、調整してください。

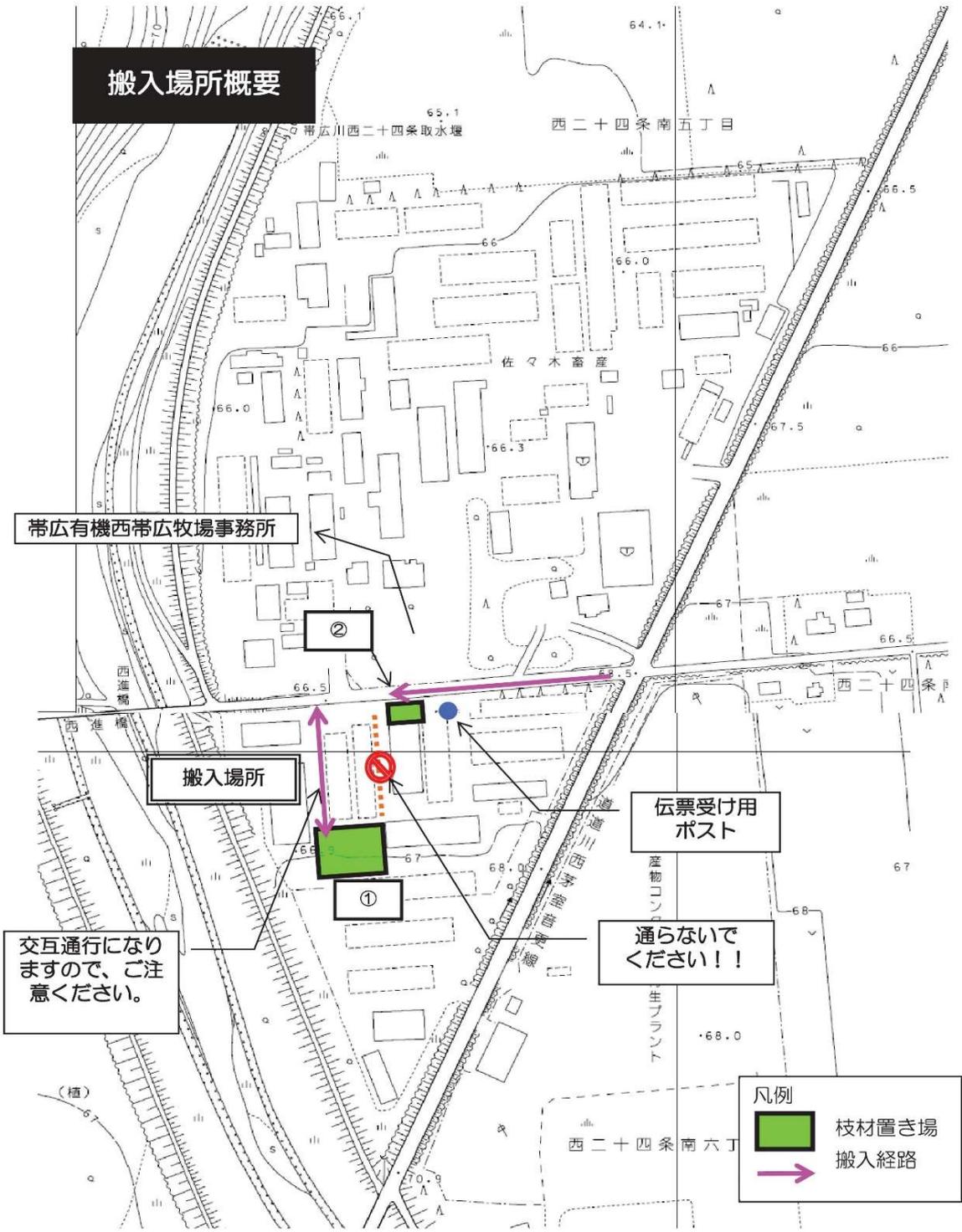
### 6 報告

- ・別紙「伐採枝・幹搬入伝票」に、搬入数量等を記載してください。
- ・伝票は同内容で2枚作成し、片方（投函用）は枝と幹の搬入時に、搬入場所のポストに投函してください。もう片方（控え）は、翌月の5日（ただし、3月は末日）までにみどりの課へ提出してください。

#### 【留意事項】

- ・金属、プラスチック、抜根等、木材以外の異物は必ず取り除いてください。
- ・搬入場所は牛舎に近接している箇所もあることから、家畜との接触等のないよう注意して下さい。急発進・急停止等の危険運転は行わないで下さい。
- ・伐採枝・幹搬入伝票は、売払金額の確定に必要ですので、必ず投函用と控えの両方を作成及び提出してください。

# 搬入場所概要



# 搬入場所写真

搬入場所①



搬入場所②



### 伐採枝・幹搬入伝票

搬入事業者

搬入者

車番

工事（委託）発注課

工事名（委託名）

搬入年月日

令和 年 月 日

搬入先

(株) 帯広有機西帯広牧場

搬入時刻	樹種	数量 (m <sup>3</sup> )	備考

この伝票には搬入日の一日分の内容を記入し、その日最後の搬入時に投函してください。  
※市有地及び市の公共事業で出た伐採枝・幹のみが対象となるものです。

### 伐採枝・幹搬入伝票（控）

搬入事業者

搬入者

車番

工事（委託）発注課

工事名（委託名）

搬入年月日

令和 年 月 日

搬入先

(株) 帯広有機西帯広牧場

搬入時刻	樹種	数量 (m <sup>3</sup> )	備考

本紙（控え）にも同内容を記入し、月ごとにまとめて、必ず翌月5日までに帯広市都市環境部環境室みどりの課みどりと花の係まで届けてください。  
(工事等発注課を経由してもかまいません)

切り取り

## 幹の搬入について

帯広市都市環境部環境室みどりの課

### 1 事業概要

市有緑地等から公共事業により発生した幹について、樹種ごとに堆積したものを地域業者に売払うことで、木質資源の地域内利用を進めるものです。

### 2 搬入対象

市有緑地等から公共事業により発生した伐採材で、直径 10cm 以上のもの

### 3 搬入場所

帯広の森ヤード（西 22 南 5）内（別紙「幹搬入位置図」参照）

※入口は施錠しているの、当課から鍵を借用の上、搬入を行ってください。

### 4 搬入時間

常時搬入可能（土日含む）

### 5 樹種及び規格

- ・幹を搬入する際は、広葉樹、針葉樹、落葉松（カラマツ）に分別してください。
- ・1本の丸太になるよう、長さ 2.1m に切り揃えてください。

### 6 搬入方法

- ・別紙「幹搬入位置図」のとおり、樹種ごとに高さ 1.5～2.0m 程度に平積みしてください。
- ・搬入場所に堆積済の幹がある場合は、その上に積み上げてください（高さ 2.0m 程度まで）。

### 7 報告

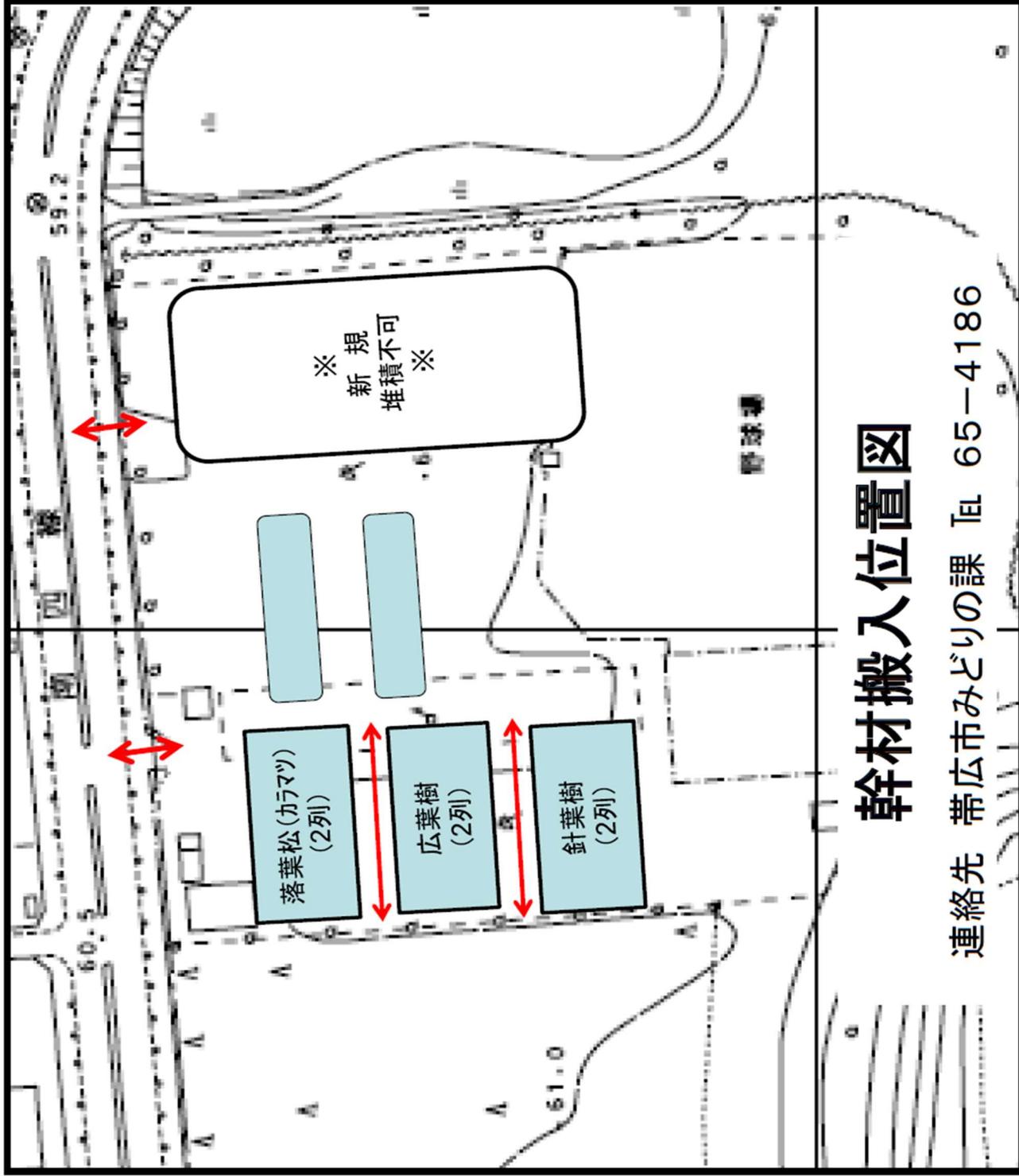
- ・搬入の都度、別紙「幹搬入伝票兼材積表」にて報告してください。
- ・幹の直径は、末口（細い側（立木時に天を向く側）の切り口）の直径を計測してください。  
※直径は、10cm から 14cm までは 1cm 刻みで、14cm 以上は 2cm 刻みで記録してください。端数ある時は、切り上げてください（例、実測値  $\phi 21.3\text{cm}$  →  $\phi 22\text{cm}$ ）。

#### 【留意事項】

- ・金属、土砂、プラスチック（ナンバーテープ、ピンクテープ等）など、木材以外の異物は取り除いてください。
- ・幹搬入伝票兼材積表は、売払数量の算出時に必要となりますので、必ず提出してください。

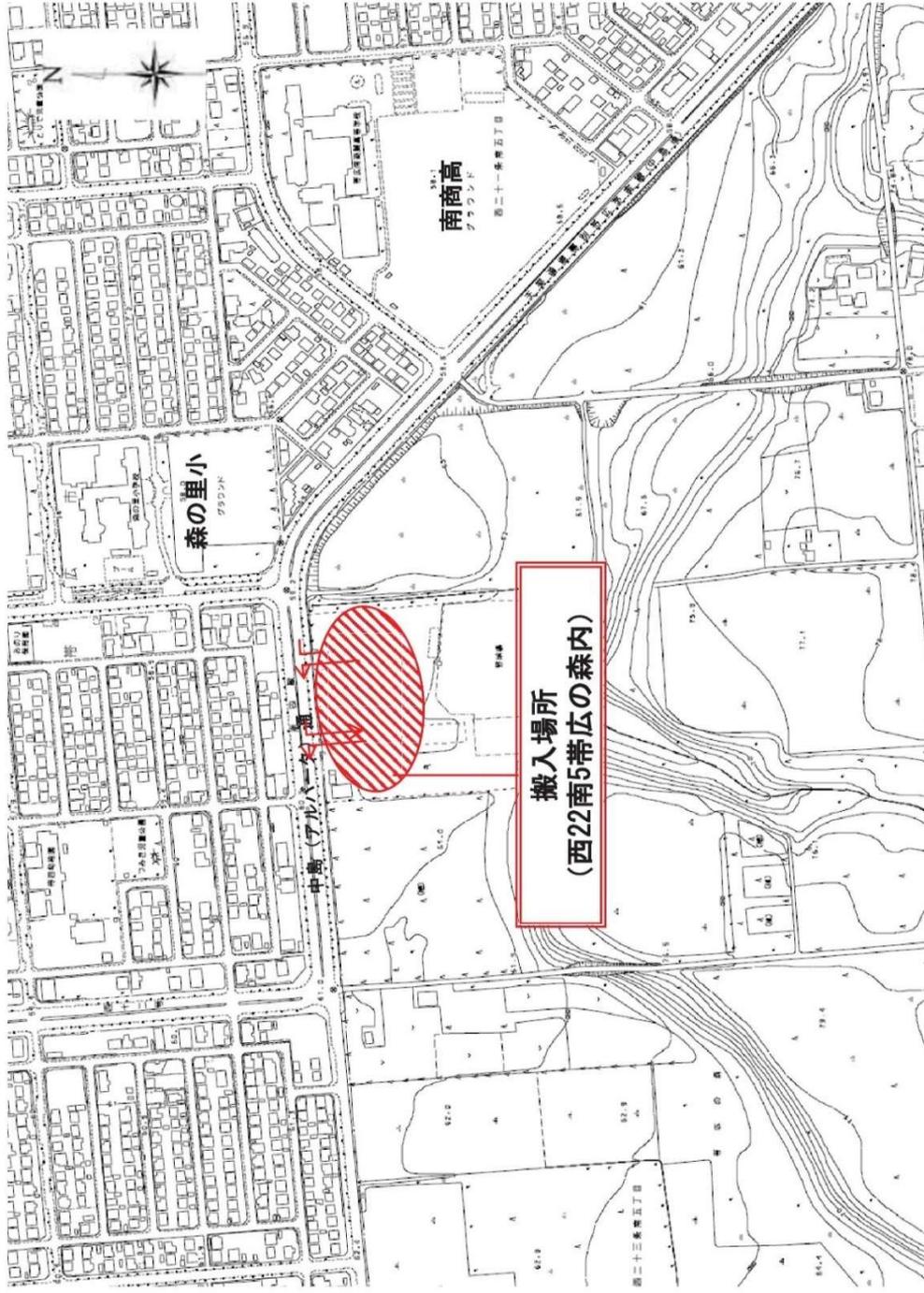
※以下のような場合は、搬入前にご相談ください。

- ・補助事業から発生する幹を搬入する場合。（売払収入の返還が必要です）
- ・事業担当課で独自に売払いを予定しているが、自課の堆積場がない場合。
- ・事業担当課の歳入としたいが、事業担当課で売払いできない場合。



# 幹材搬入位置図

連絡先 帯広市みどりの課 TEL 65-4186



市有緑地等伐採材 搬入場所 位置図







令和 年 月 日

監督員

様

(受注者名)

現場代理人

立 会 願

下記項目について、立会を願います。

工 事 名		
項 目	内 容	
希 望 日 時		

-----  
上記項目について令和 年 月 日立会を実施した。

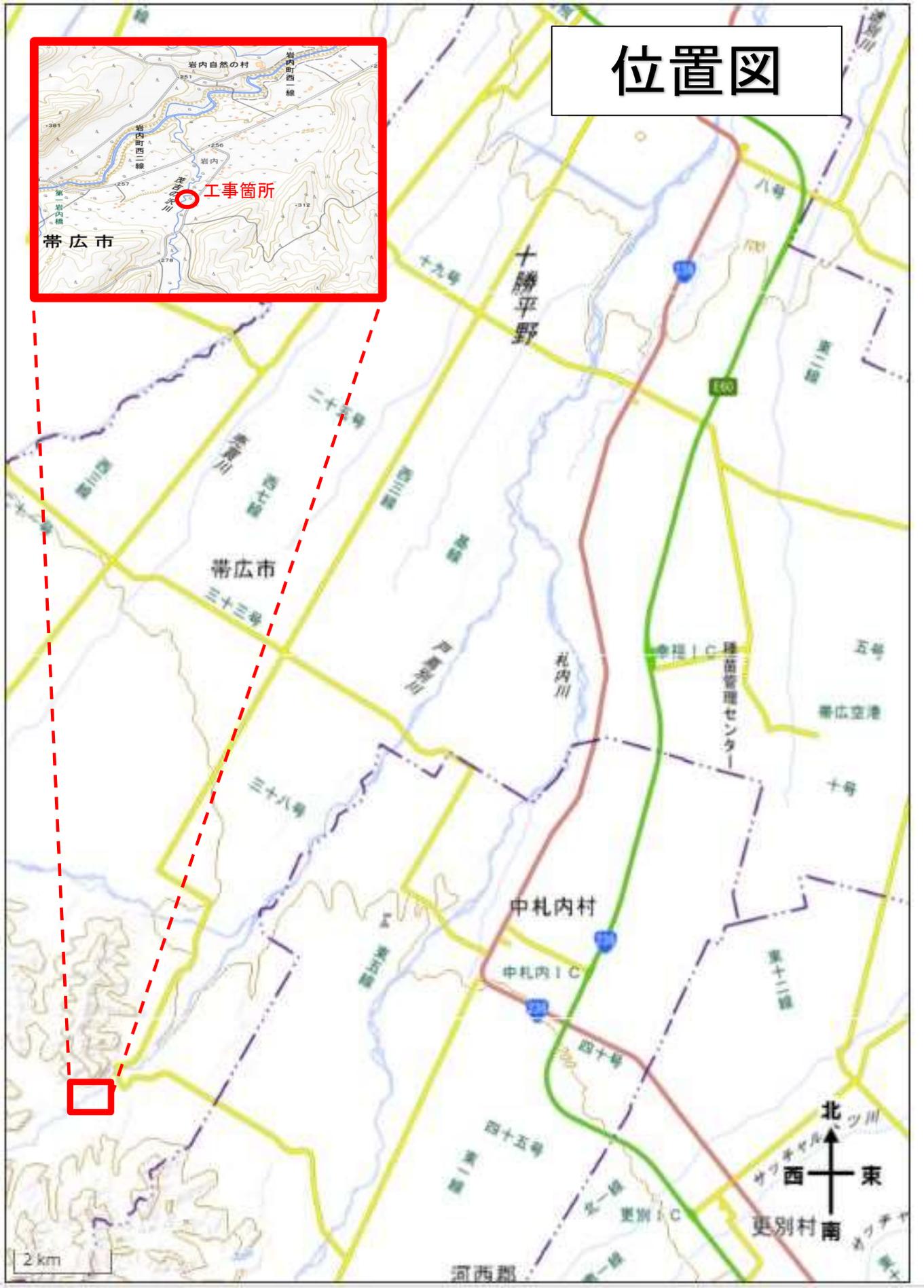
令和 年 月 日

監督員職氏名

(主 旨)

本様式は、受注者が工事監督員の立会を受ける必要がある場合に工事監督員に提出するものである。

# 位置図



単 独

2025年度施行

見積用

普通河川茂吉の沢川改修工事 実施設計書

---

参考資料

本資料は、入札額を算定する際に参考とする資料であり、契約上の制約を有するものではない。

帯広市



## 積算情報

設計書番号	25-18-A3-0024-0	設計者名	
出張所名	帯広市		
適用単価	一般土木		
入札日(開札日)	2025年 9月30日		
歩掛適用年月	2025年 9月 1日		
単価適用年月	2025年 9月 1日		
適用単価 地区	生コン	K01:帯広市・音更町・芽室町・中札内村・更別村・幕別町・池田町・豊頃の一部	
	合材	K01:帯広市、音更町、芽室町、清水町、土幌町、幕別町、池田町、中札内村、更別村、山岳部除く新得町と鹿追町、豊頃町一部	
	石材	K05:帯広市・音更町・芽室町・幕別町・池田町・中札内村・更別村・豊頃町の一部・土幌町の一部	
	港湾石材		
	燃料	K00:帯広建設管理部	
適用工種	河川工事		

積算時想定工事期間	2025年10月 7日 ~ 2025年12月25日 (80日)		
工期の設定	通常工期	実施工期：80日	完成期限： 2025年12月25日
冬期労務補正	2025年10月 ~ 2025年12月	冬期労務補正：あり	時間的制約：時間的制約無し

2025/08/13 15:31:17

## 工事概要一覧表

事業種別	工事箇所	水系・路河川名	橋梁名等
河川改修工事	帯広市岩内町西1線	普通河川茂吉の沢川	

費 目	本工事費	普通河川茂吉の沢川改修工事
-----	------	---------------

工 事 概 要	No	当 初	変 更
	1	河川土工 1 式	
	2	法覆護岸工 1 式	
	3	法面工 1 式	
	4		
	5		
	6		
	7		

## 諸経費情報

	I C T 補正	しない
	週休 2 日制の補正	4 週 8 休以上(月単位)
共通仮設費	主たる工種	0 1 : 河川工事
	施工地域補正	補正無し ( 地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合 )
	除雪工事補正	補正無し
現場環境改善費	計上の有無	しない
	市街地補正	市街地以外
現場管理費	施工地域補正	補正無し ( 地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合 )
	緊急工事補正	しない
	砂防・地滑り工事補正	しない
工期延長等に伴う現場維持費	計上の有無	しない
	施工地域補正	補正無し ( 地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合 )
	工期延長等日数	0日
	延長期間最終日の基準年月	2026/01
一般管理費等	財団法人等の補正	しない
	前払金割合による補正	3 5 % を超えるもの
	契約保証に係る補正	

## 工 事 費 総 括 表

費 目	請 工 事 費 (消費税等を含む)	工 事 価 格 (消費税等を含まない)	消 費 税 等 相 当 額	適 用
工事費				
本工事				
附带工事費				
測量及び試験費				
用地費及び補償費				
機械器具費				
管繕費				
工事雑費				
応急工事費				
請負対象額				

注：上段は現設計

下段は設計変更

## 設計内訳書

工事名 普通河川茂吉の沢川改修工事		当 初		事業区分 河川改修		主たる工種 河川工事			
工事区分・工種・種別・細別		規格		数量		金額		数量増減	
工事区分・工種・種別・細別		規格		数量		金額		数量増減	
築堤・護岸		式		1					
河川土工		式		1					
掘削工		式		1					
掘削	土砂、オープンカット、押土無し、障害無し、5,000m3未満	m3		420					単-1号 週休有
盛土工		式		1					
路体(築堤)盛土	4.0m以上、2,000m3未満、障害無し	m3		800					単-2号 週休有
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 【ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級】【タイヤ損耗費 10t積級 良好 供用日】	m3		800					単-3号 週休有
積込(ルーフ)	土砂、土量50,000m3未満	m3		800					単-4号 週休有
法面整形工		式		1					
法面整形(盛土部)	盛土部、法面締固め有り、現場制約無し、粘土質土・砂及び砂質土・粘性土	m2		170					単-5号 週休有

## 設計内訳書

工事名	普通河川茂吉の沢川改修工事			当初	事業区分	河川改修	主たる工種	河川工事	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
	植土 黒土フルイ		m3	30					単-6号 週休有
	土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)、51.5km以下 【ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級】【タイヤ損耗費 10t積級 良好 供用日】	m3	30					単-7号 週休有
	残土処理工		式	1					
	整地	敷均し(ル-ズ)	m3	420					単-8号 週休有
	法覆護岸工		式	1					
	作業土工		式	1					
	床掘り	土砂、施工方法：標準、土留無し、障害無し、5,000m3未満	m3	140					単-9号 週休有
	埋戻し	最大埋戻幅1m未満	m3	10					単-10号 週休有
	護岸付属物工		式	1					

## 設計内訳書

工事名	普通河川茂吉の沢川改修工事		当初	事業区分	河川改修		主たる工種	河川工事	
				工事区分	築堤・護岸		施工地域	補正無し	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
二重ふとんかご工	【栗石 かごマット中詰用   5 ~ 15 cm(土場 芽室・更別・豊頃・幕別・中札内・帯広)】	本	28					単-11号	週休有
袋型根固め	2t用 【袋型根固め材   2 t用 参考容量 約 V=1.25m3】【玉石 じゃがご・ふとんかご中詰用   15 ~ 25 cm(土場 芽室、更別、豊頃、幕別、中札内、帯広)】	袋	66					単-12号	週休有
法面工		式	1						
植生工		式	1						
すき取り土法覆基材		m2	50					単-13号	週休有
直接工事費		式	1						
共通仮設		式	1						
共通仮設費		式	1						
準備費		式	1						

## 設計内訳書

工事名	普通河川茂吉の沢川改修工事			当初	事業区分	河川改修	主たる工種	河川工事	概要
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	
立木切倒し・枝払い切揃え、立木集積		本	29						単-14号 週休有
立木切倒し・枝払い切揃え、立木集積		本	98						単-15号 週休有
立木積込み		t	133.1						単-16号 概数 週休有
立木・伐開物・抜根物運搬費	枝材	t	35						単-17号 概数 週休有
立木・伐開物・抜根物運搬費	幹材	t	63						単-18号 概数 週休有
立木・伐開物・抜根物運搬費	根	t	35.2						単-19号 概数 週休有
立木・伐開物・抜根物処分費	根、バイオフィード研究所	m3	44						単-20号 概数 週休有
共通仮設費（率計上）		式	1						
純工事費		式	1						
現場管理費		式	1						
工事原価		式	1						
一般管理費等		式	1						

## 設計内訳書

工事名 普通河川茂吉の沢川改修工事		当 初		事業区分 河川改修		主たる工種 河川工事		
工事区分・工種・種別・細別		規格		工事区分 共通仮設費		施工地域 補正無し		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
工事価格		式	1					
消費税相当額		式	1					
工事費計		式	1					

## 工場管理費

1	間接労務費対象額 管理費区分7		
2	間接労務費率		
3	間接労務費計上額		
4	工場管理費 工場純工事費		
5	非対象額計( - )		管理費区分5 , 9
6	工場管理費対象額		
7	工場管理費率		
8	工場管理費計上額		

## 共通仮設費

1	主たる工種 単独 (当該工事)	河川工事	
2	主たる工種 合算工事		
3	対象工事費		
4	直接工事費		
5	準備費 (処分費)		
6	事業損失防止施設費		
7	対象工事費に含まれる処分費 単独 (追加工事)		
8	現工事		
9	合算工事		
10	非対象額計 (-)		
11	管理費区分 1		橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費
12	管理費区分 2, 7		工場原価
13	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
14	管理費区分 9		間接費非対象額
15	管理費区分 T		全処分費のうち 3% または 3000万円を超える額
16	対象額支給品 (+)		
17	無償貸付機械評価額 (+)		
18	共通仮設費対象額 単独 (追加工事)		
19	現工事		
20	合算工事		
21	処分費等を除く共通仮設費対象額 単独 (追加工事)		調整工事入力で使用
22	現工事		
23	合算工事		
24	共通仮設費 (率分) 率 (補正前) 単独 (追加工事)		
25	現工事		
26	合算工事		
27	施工地域等補正 単独 (追加工事)		*補正係数を乗じる
28	現工事		
29	共通仮設費 (率分) 率 (補正後)		週休 2 日制補正係数 1.03有り
30	計上額 単独 (追加工事)		
31	現工事		
32	合算工事		
33	調整工事計上額		

## 共通仮設費

34	現場環境改善費対象工事費		
35	直接工事費		
36	非対象額計 ( - )		
37	管理費区分 1		橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費
38	管理費区分 2 , 7		工場原価
39	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
40	管理費区分 9		間接費非対象額
41	管理費区分 T		
42	対象額支給品 ( + )		
43	無償貸付機械評価額 ( + )		
44	現場環境改善費対象額 ( P i ) 単独 ( 追加工事 )		
45	現工事		
46	合算工事		
47	現場環境改善費 率 ( 補正前 ) 単独 ( 追加工事 )		
48	現工事		
49	合算工事		
50	施工地域等補正 単独 ( 追加工事 )		
51	現工事		
52	現場環境改善費 率 ( 補正後 )		
53	計上額 単独 ( 追加工事 )		
54	現工事		
55	合算工事		
56	調整工事計上額		
57	共通仮設費 ( 積上分 )		
58	運搬費		
59	準備費・仮設費		
60	事業損失防止施設費		
61	安全費		
62	役務費		
63	技術管理費		
64	営繕費		
65	現場環境改善費		
66	共通仮設費計		

## 現場管理費

1	主たる工種	河川工事	
2	単独（追加工事）純工事費		
3	単独（追加工事）直接工事費		
4	単独（追加工事）共通仮設費		
5	非対象額計（-）		
6	管理費区分2, 7		工場原価
7	管理費区分5		一般管理費等のみ対象額
8	管理費区分9		間接費非対象額
9	管理費区分T		全処分費のうち3%または3000万円を超える額
10	対象額支給品（+）		
11	無償貸付機械評価額（+）		
12	現場管理費対象純工事費 単独（追加工事）		
13	現工事		
14	合算工事		
15	処分費等を除く 現場管理費対象純工事費		調整工事入力で使用
16	現工事		
17	合算工事		
18	率（補正前） 単独（追加工事）		
19	現工事		
20	合算工事		
21	施工地域等補正 単独（追加工事）		*補正係数を乗じる
22	現工事		
23	施工時期補正		帯広市
24	緊急工事補正		
25	真夏日補正		
26	砂防・地すべり補正 単独（追加工事）		
27	現工事		
28	率（補正後）		週休2日制補正係数 1.05有り
29	計上額 単独（追加工事）		
30	現工事		
31	合算工事		
32	調整工事計上額		

## 一般管理費等

事務所名 帯広市都市環境部土木室管理課  
 発注年月 契約区分

工事番号 第 回変更  
 主工種 河川工事

1	工事原価		
2	純工事費		
3	現場管理費		
4	工期延長等に伴う現場維持費		
5	工場製作原価		
6	非対象額計 (-)		
7	管理費区分9		支給品を除く間接費非対象額
8	管理費区分T		全処分費のうち3%または3000万円を超える額
9	一般管理費等対象工事原価 単独(追加工事)		
10	現工事		
11	合算工事		
12	処分費等を除く 一般管理費等対象工事原価		調整工事入力で使用
13	現工事		
14	合算工事		
15	率(補正前) 単独(追加工事)		
16	現工事		
17	合算工事		
18	前払金支出割合による補正係数 単独(追加工事)		
19	現工事		
20	財団法人等による補正係数 単独(追加工事)		
21	現工事		
22	契約保証に係る一般管理費等対象工事原価(当初設計)		
23	契約保証に係る補正值 単独(追加工事)		
24	一般管理費等 率(補正後)		
25	計上額 単独(追加工事)		
26	現工事		
27	合算工事		
28	調整工事計上額		

## 処 分 費 等 指 定 行 一 覧 表

細別名称	規格	単位	-	-	-
処分費対象名称	処分費対象規格	単位	数量	単価	金額
立木・伐開物・抜根物処分費	根、バイオフィールド研究所	m3			
処分費		m3	1		
産業廃棄物一般廃棄物処理料金	枝・抜根等（玉石・土砂等混入あり）	空m3	1		

表示されている数量・単価・金額は入力参考値

### 処分費内諸経費対象額・算出根拠（一般管理費等算出用通常設計書）

P：共通仮設費対象額（処分費算出用） <small>（直接工事費計＋支給品＋事業損失防止施設費＋無償貸付機械等評価額＋共通仮設費対象外額＋その他対象額）</small>	
W：処分費等の占める割合 $W = S / (P + Q)$	
S t：Wが3%相当の処分費等の価格（W>3%の場合） $S t = (P + Q) \times 3\%$	

S：処分費等の価格	Pに含まれる処分費等	Q：準備費に含まれる処分費等

#### 処分費内諸経費対象額・算出区分

算出区分	算出条件	算出根拠
A	「W 3%」かつ 「S 30,000,000」のとき	処分費等（S）の全額を率計算の対象とする
B	「W 3%」かつ 「S > 30,000,000」のとき	処分費等の率計算の対象は3千万円とする
C	「W > 3%」のとき	（S t）を率計算の対象とする。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする

算出区分	処分費に占める諸経費対象額	処分費に占める諸経費対象外額

## 内訳書&lt;データ無し&gt;

							単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要

上段から 既契約数量 / 出来高数量 / 出来高累計 / 前回残工事 / 今回残工事

# 1次単価表

単-1号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	掘削				単位	m3	数量	1	単価	
規格	土砂、オープンカット、押土無し、障害無し、5,000m3未満				単位		数量		単価	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
掘削	土質 = 土砂 : 施工方法 = オープンカット : 押土の有無 = 無し : 障害の有無 = 無し : 施工数量 = 5,000m3未満 :	m 3	1			CB210100 冬期 管理費区分 無 単-21号				
計										
単価										

# 1次単価表

単-2号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	路体(築堤)盛土				単位	m3	数量	1	単価	
規格	4.0m以上、2,000m3未満、障害無し				単位		数量		単価	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
路体(築堤)盛土	施工幅員 = 4.0m以上 : 施工数量 = 20,000m3未満 : 障害の有無 = 無し :	m 3	1			CB210510 冬期 管理費区分 無 単-22号				
計										
単価										

# 1次単価表

単-3号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)【ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]   10 t 積級 】【タイヤ損耗費   10 t 積級 良好 供用日 】	m3	1			CB210110 冬期 管理費区分 無 単-23号
計						
単価						

## 1次単価表

単-4号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
積込(ルーズ)	土質 = 土砂 : 作業内容 = 土量50,000m3未満 :	m 3	1			CB210020 冬期 管理費区分 無 単-24号
計						
単価						

# 1次単価表

単-5号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	法面整形(盛土部)				単位	m2	数量	1	単価	
規格	盛土部、法面締固め有り、現場制約無し、ㄥ質土・砂及び砂質土・粘性土				単位		数量		単価	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
法面整形	整形箇所 = 盛土部 : 法面締固めの有無 = 有り : 現場制約の有無 = 無し : 土質 = ㄥ質土、砂 及び砂質土、粘性土 : 費用の内訳 = 全ての費用 :	m 2	1			CB220010 冬期 管理費区分 無 単-25号				
計										
単価										

# 1次単価表

単-6号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
植土 黒土フルイ		m3				
			1			
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
植土	黒土(フルイ) 帯広市空港南町南11線西32-1外	m 3	1			ZKD2014200 管理費区分 無 地方資材単価
計						
単価						

# 1次単価表

単-7号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)、51.5km以下【ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]   10 t 積級 】【タイヤ損耗費   10 t 積級 良好 供用日 】	m3	1			CB210110 冬期 管理費区分 無 単-26号
計						
単価						

# 1次単価表

単-8号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
整地	作業区分 = 敷均し (ル-ス) : 施工数量 = 標準 (10,000m3未満) : 障害の有無 = 無し :	m 3	1			CB210610 冬期 管理費区分 無 単-27号
計						
単価						

## 1次単価表

単-9号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土質 = 土砂 : 施工方法 = 標準 : 土留方式の種類 = 無し : 障害の有無 = 無し :	m 3	1			CB210030 冬期 管理費区分 無 単-28号
計						
単価						

# 1次単価表

単-10号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	埋戻し				単位	m3	数量	1	単価	
規格	最大埋戻幅1m未満				単位		数量		単価	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
埋戻し	施工方法 = 最大埋戻幅1m未満 :	m 3	1			CB210410 冬期 管理費区分 無 単-29号				
計										
単価										

## 1次単価表

単-11号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
二重ふとんかご工	資材計上区分 = 材料費 + 施工費 : 規格区分 = 線径 4.0mm(#8)、網目13cm、高さ50cm、幅120cm、長さ200cm : 詰石計上区分 = 詰石材料費 + 詰石施工費を計上する : 【栗石 かごマット中詰用   5 ~ 15 cm(土場 芽室・更別・豊頃・幕別・中札内・帯広)】	本	1			DX103100 冬期管理費区分 無単-30号
計						
単価						

# 1次単価表

単-12号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称		単位	袋	数量	単価	金額	単価
袋型根固め				1			
規格 2t用【袋型根固め材   2 t用 参考容量 約 V=1.25m3】【玉石 じゃがご・ふとんかご中詰用   15 ~ 25 cm(土場 芽室、更別、豊頃、幕別、中札内、帯広)】							
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
袋詰玉石	袋詰玉石用袋材規格 = 2t用 (長期性能型) : 施工条件 = 深4m以下及び作業半径5m以内 : 中詰材区分 = 購入材 : 費用の内訳 = 全ての費用 : 【袋型根固め材   2 t用 参考容量 約 V=1.25m3】【玉石 じゃがご・ふとんかご中詰用   15 ~ 25 cm(土場 芽室、更別、豊頃、幕別、中札内、帯広)】	袋	1			CB322430 冬期 管理費区分 無 単-31号	
計							
単価							

## 1次単価表

単-13号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
すき取り土法覆基材		m2			1	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
すき取り土仮置き・整形		m3	0.15			DX042200 冬期 管理費区分 無 単-32号
すき取り土積込		m3	0.15			DX042210 冬期 管理費区分 無 単-33号
すき取り土張付		m2	1			DX042220 冬期 管理費区分 無 単-34号
すき取り土運搬	運搬距離 = 1.2km以下 : タイヤ損耗費 = 普通 :	m3	0.15			DX042230 冬期 管理費区分 無 単-35号
計						
単価						

# 1次単価表

単-14号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	本	数量	単価	金額	単価
立木切倒し・枝払い切揃え、立木集積				1			
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
立木切倒し・枝払切揃え、立木集積	樹径 = 20 cm以上 : 伐採数 = 29本 : 現場条件 = 1以外 :	本	1			DX090600 冬期 管理費区分 無 単-36号	
計							
単価							

# 1次単価表

単-15号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	本	数量	単価	金額	単価
立木切倒し・枝払い切揃え、立木集積				1			
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
立木切倒し・枝払い切揃え、立木集積	樹径 = 20 cm未満：伐採数 = 98本：現場条件 = 1以外：	本	1			DX090600 冬期 管理費区分 無 単-37号	
計							
単価							

# 1次単価表

単-16号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
立木積込み		t	1			DX090700 冬期 管理費区分 無 単-38号
計						
単価						

# 1次単価表

単-17号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
立木・伐開物・抜根物運搬費	枝材	t	1			
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
立木、伐開物、抜根物等運搬	運搬距離 = 44.0 km以下：損耗費補修費 区分 = 普通：	t	1			DX090800 冬期 管理費区分 無 単-39号
計						
単価						

# 1次単価表

単-18号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
立木・伐開物・抜根物運搬費	幹材	t	1			
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
立木、伐開物、抜根物等運搬	運搬距離 = 44.0 km以下：損耗費補修費 区分 = 普通：	t	1			DX090800 冬期 管理費区分 無 単-40号
計						
単価						

# 1次単価表

単-19号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
立木・伐開物・抜根物運搬費		t				
立木、伐開物、抜根物等運搬	運搬距離 = 44.0 km以下：損耗費補修費 区分 = 普通：	t	1			DX090800 冬期 管理費区分 無 単-39号
計						
単価						

# 1次単価表

単-20号

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	立木・伐開物・抜根物処分費				単位	m3	数量	1	単価	
規格	根、バイオフィールド研究所				単位		数量		単価	
	名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要			
処分費			m3	1			WYB00003 管理費区分 T 単-41号			
計										
単価										

### 参考資料(1) (施工パッケージ)

単-21号

CB210100

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	摘要	
掘削	土砂 オブカット無し 無し 5,000m3未満	m <sup>3</sup>	1			
名称	規格 / 条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手 (特殊)	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型]	排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m <sup>3</sup>	%				M000202090 管理費区分 無

## 参考資料(1)(施工パッケージ)

単-22号

CB210510

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格 / 条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
路体(築堤)盛土		m <sup>3</sup>			1	
規格	4.0m以上 20,000m <sup>3</sup> 未満 無し	単位				
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手(特殊)	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ブルドーザ[湿地]	7t級 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001005006 管理費区分 無 刊行物単価
振動ローラ(土工用)[フラット・シングルドラム型]	運転質量11~12t 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001071001 管理費区分 無 刊行物単価

### 参考資料(1) (施工パッケージ)

単-23号

CB210110

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
土砂等運搬	標準 バックホウ山積0.8m3 (平積0.6m3) 土砂 (岩塊・玉石混り土含む) 無し 2.0km以下	m3			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手 (一般)	割増対象賃金比0.793	%				R0115 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ] 【 タイヤ損耗費 】	10t積級 【 10t積級 良好 供用日 】	%				M000301005 管理費区分 無 刊行物単価

### 参考資料(1) (施工パッケージ)

単-24号

CB210020

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	構成比率	標準単価	数量	単価	摘要
積込(ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満	m <sup>3</sup>			1		
標準単価							
労務構成比率		%					
運転手(特殊)	割増対象賃金比0.778	%					R0114 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
材料構成比率		%					
軽油	ミニローリー渡し	%					Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%					
バックホウ(クローラ型) [標準型]	排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m <sup>3</sup>	%					M000202142 管理費区分 無

### 参考資料(1) (施工パッケージ)

単-25号

CB220010

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
法面整形	盛土部 有り 無し 埴質土、砂及び砂質土、粘性土 全ての費用	m <sup>2</sup>			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
運転手(特殊)	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	%				R0125 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ(クローラ) [標準]	山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 排出ガス 対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001010007 管理費区分 無 刊行物単価

## 参考資料(1)(施工パッケージ)

単-26号

CB210110

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
土砂等運搬	標準 バックホウ山積1.4m3(平積1.0m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 51.5km以下	m3			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手(一般)	割増対象賃金比0.793	%				R0115 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ] 【タイヤ損耗費】	10t積級 【10t積級 良好 供用日】	%				M000301005 管理費区分 無 刊行物単価

## 参考資料(1)(施工パッケージ)

単-27号

CB210610

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
整地	敷均し(ルズ) 標準(10,000m3未満) 無し	m <sup>3</sup>			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手(特殊)	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ(クローラ)[標準]	山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 排出ガス 対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001010007 管理費区分 無 刊行物単価

## 参考資料(1)(施工パッケージ)

単-28号

CB210030

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格 / 条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
床掘り		m <sup>3</sup>			1	
規格	土砂 標準 無し 無し	単位				
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手(特殊)	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ(クローラ)[標準]	山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 排出ガス 対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001010007 管理費区分 無 刊行物単価

## 参考資料(1)(施工パッケージ)

単-29号

CB210410

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
埋戻し	最大埋戻幅1m未満	m <sup>3</sup>			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	%				R0101 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
運転手(特殊)	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
ガソリン	レギュラー スタンド渡し 無鉛 JIS K 2202 2号	%				Z006704001 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ(クローラ) [後方超小旋回・ 超低騒音]	排出ガス対策型(2014年規制)山積0.4 5 m <sup>3</sup>	%				M000202123 管理費区分 無

### 参考資料(1) (施工パッケージ)

単-29号

CB210410

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	埋戻し				単位	m <sup>3</sup>	数量	1	単価	
規格	最大埋戻幅1m未満				単位		数量		単価	
名称	規格 / 条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要				
タンパ及びランマ	質量 60 ~ 80 kg リース置場渡し	%				L001180001 管理費区分 無 刊行物単価				

## 参考資料(1)

単-30号

DX103100

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
二重ふとんかご工	50×120×200cm 線径 4.0mm 網目13cm 内張ネットを含む 内張ネット半巻	本	1			ZAC4102000 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
普通作業員	割増対象賃金比0.828	人	0.08			R0102 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
普通作業員	同上	人	0.13			R0102 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
バックホウ運転費	規格区分 = 山積0.8m3級 (平積0.6m3) : 機械 損料補正 = 補正なし(土砂等) : 排対区分 = 排出ガス対策型(第1次基準) :	時間	0.06			DX022400 冬期 管理費区分 無 単-42号 Z1
栗石 かごマット中詰用	5 ~ 15 c m(土場 芽室・更別・豊頃・幕別・中札 内・帯広)	m 3	1.2			ZKD2056400 管理費区分 無 地方資材単価 Z1
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

## 参考資料(1)(施工パッケージ)

単-31号

CB322430

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格 / 条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
袋詰玉石	2t用(長期性能型) 深4m以下及び作業半径5m以内 購入材 全ての費用	袋			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	%				R0125 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
運転手(特殊)	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	%				R0101 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 冬期 二省労務単価
材料構成比率		%				
袋型根固め材	2 t 用 参考容量 約 V = 1.25m <sup>3</sup>	%				ZAC8050000 管理費区分 無 刊行物単価
玉石 じゃがご・ふとんかご中詰用	15 ~ 25 cm(土場 芽室、更別、豊頃、幕別、中札内、帯広)	%				ZKD2052400 管理費区分 無 地方資材単価

### 参考資料(1)(施工パッケージ)

単-31号

CB322430

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	袋詰玉石				袋	数量	1	単価	
規格	2t用(長期性能型) 深4m以下及び作業半径5m以内 購入材 全ての費用				単位				
名称	規格/条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要			
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価			
機械構成比率		%							
バックホウ(クローラ)[標準・クレーン機能付き]	山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )2.9t吊 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 クレーン建設業者置場渡し	%				L001010004 管理費区分 無 刊行物単価			

### 参考資料(1)

単-32号

DX042200

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
すき取り土仮置き・整形		m3			100	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	人	0.05			R0125 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
バックホウ運転費	規格区分 = 山積0.8m3級 (平積0.6m3) : 機械 損料補正 = 補正なし(土砂等) : 排対区分 = 排 出ガス対策型(第1次基準) :	時間	2.2			DX022400 冬期 管理費区分 無 単-42号 Z1
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

### 参考資料(1)

単-33号

DX042210

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
すき取り土積込		m3			100	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	人	0.15			R0125 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
バックホウ運転費	規格区分 = 山積0.8m3級 (平積0.6m3) : 機械 損料補正 = 補正なし(土砂等) : 排対区分 = 排出ガス対策型(第1次基準) :	時間	3.7			DX022400 冬期 管理費区分 無 単-42号 Z1
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

### 参考資料(1)

単-34号

DX042220

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
すき取り土張付		m2			100	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	人	0.1			R0125 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
普通作業員	割増対象賃金比0.828	人	0.38			R0102 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
バックホウ運転費	規格区分 = 山積0.8m3級 (平積0.6m3) : 機械 損料補正 = 補正なし(土砂等) : 排対区分 = 排 出ガス対策型(第1次基準) :	時間	2.8			DX022400 冬期 管理費区分 無 単-43号
諸雑費(率+まるめ)	Z1の合計金額に0.4%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS8000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

### 参考資料(1)

単-35号

DX042230

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	すき取り土運搬				単位	m3	数量	100	単価	
規格	1.2km以下 普通				単位		数量		単価	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
ダンプトラック運転	ダンプトラック = 10 t 積級 : 機械損料補正 = 補正なし(土砂等) : タイヤ損耗費 = 普通 :	時間	2.2			DX023000 冬期 管理費区分 無 単-44号 Z1				
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1				
計										
単価										

## 参考資料(1)

単-36号

DX090600

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
立木切倒し・枝払切揃え、立木集積		本				
規格	20cm以上 29本 1以外	単位			100	単価
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	人	5.837			R0125 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	人	7.184			R0101 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
普通作業員	割増対象賃金比0.828	人	2.694			R0102 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
バックホウ運転費	規格区分 = 山積0.5m3級 (平積0.4m3) : 機械 損料補正 = 補正なし(土砂等) : 排対区分 = 排 出ガス対策型(2011年規制) :	時間	62.86			DX022400 冬期 管理費区分 無 単-45号
掴み装置	開口幅1700~2000爪幅400~750 mm	時間	62.86			M000291001 管理費区分 無 刊行物単価
諸雑費(率+まるめ)	Z1の合計金額に9%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS8000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

## 参考資料(1)

単-37号

DX090600

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
立木切倒し・枝払切揃え、立木集積		本				
規格	20cm未満 98本 1以外	単位			100	単価
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	人	1.326			R0125 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	人	1.632			R0101 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
普通作業員	割増対象賃金比0.828	人	0.612			R0102 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
バックホウ運転費	規格区分 = 山積0.5m3級 (平積0.4m3) : 機械 損料補正 = 補正なし(土砂等) : 排対区分 = 排 出ガス対策型(2011年規制) :	時間	14.28			DX022400 冬期 管理費区分 無 単-45号
掴み装置	開口幅1700~2000爪幅400~750 mm	時間	14.28			M000291001 管理費区分 無 刊行物単価
諸雑費(率+まるめ)	Z1の合計金額に9%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS8000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

## 参考資料(1)

単-38号

DX090700

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
立木積込		人	0.45			R0125 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
バックホウ運転費	規格区分 = 山積0.5m3級 (平積0.4m3) : 機械 損料補正 = 補正なし(土砂等) : 排対区分 = 排 出ガス対策型(2011年規制) :	時間	1.53			DX022400 冬期 管理費区分 無 単-46号 Z1
掴み装置	開口幅1700~2000爪幅400~750 mm	時間	1.53			M000291001 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

### 参考資料(1)

単-39号

DX090800

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	t	数量	単価	金額	単価
立木、伐開物、抜根物等運搬	44.0 km以下 普通						
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ダンプトラック運転	ダンプトラック = 10 t 積級 : 機械損料補正 = 補正なし(土砂等) : タイヤ損耗費 = 普通 :	時間	11.1			DX023000 冬期 管理費区分 無 単-44号 Z1	
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1	
計							
単価							

### 参考資料(1)

単-40号

DX090800

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	t	数量	単価	金額	単価
立木、伐開物、抜根物等運搬	44.0 km以下 普通						
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ダンプトラック運転	ダンプトラック = 10 t 積級 : 機械損料補正 = 補正なし(土砂等) : タイヤ損耗費 = 普通 :	時間	11.1			DX023000 冬期 管理費区分 無 単-44号 Z1	
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1	
計							
単価							

### 参考資料(1)

単-41号

WYB00003

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費		m3	1			
産業廃棄物一般廃棄物処理料金	枝・抜根等(玉石・土砂等混入あり)	空m3	1			ZKD5849100 管理費区分 T 地方資材単価
計						
単価						

### 参考資料(2)

単-42号

DX022400

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
バックホウ運転費	山積0.8m3級 (平積0.6m3) 補正なし(土砂等) 排出ガス対策型(第1次基準)	時間	1			
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)	割増対象賃金比0.778	人	0.17			R0114 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
軽油	ミニローリー渡し	L	15			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
バックホウ(クローラ) [標準]	排ガス型(第1次) 山積0.8m3	時間	1			M000202031 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料(2)

単-43号

DX022400

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
バックホウ運転費	山積0.8m3級 (平積0.6m3) 補正なし(土砂等) 排出ガス対策型(第1次基準)	時間	1			
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)	割増対象賃金比0.778	人	0.17			R0114 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
軽油	ミニローリー渡し	L	15			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
バックホウ(クローラ) [標準]	排ガス型(第1次) 山積0.8m3	時間	1			M000202031 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

## 参考資料(2)

単-44号

DX023000

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格	単位	時間	数量	単価	金額	単価	摘要
ダンプトラック運転	10t積級 補正なし(土砂等) 普通			1				
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
運転手(一般)	割増対象賃金比0.793	人	0.17			R0115 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1		
軽油	ミニローリー渡し	L	9.8			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1		
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]	10t積級	時間	1			M000301005 管理費区分 無 刊行物単価 Z1		
タイヤ損耗費	10t積級 普通	時間	1			Z010020101 管理費区分 無 刊行物単価 Z1		
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1		
計								
単価								

## 参考資料(2)

単-45号

DX022400

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
バックホウ運転費	山積0.5m3級 (平積0.4m3) 補正なし(土砂等) 排出ガス対策型(2011年規制)	時間			1	
運転手(特殊)	割増対象賃金比0.778	人	0.17			R0114 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
軽油	ミニローリー渡し	L	11			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
バックホウ(ｸｰﾗ) [標準・超低騒音型]	排ガス型(2011年規制) 山積0.5m3	時間	1			MA00202070 管理費区分 無 Z1
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

### 参考資料(2)

単-46号

DX022400

単価適用年月	20250901
歩掛適用年月	20250901
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
バックホウ運転費	山積0.5m3級 (平積0.4m3) 補正なし(土砂等) 排出ガス対策型(2011年規制)	時間			1	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)	割増対象賃金比0.778	人	0.17			R0114 管理費区分 無 冬期 二省労務単価 Z1
軽油	ミニローリー渡し	L	11			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
バックホウ(ｸｰﾗ) [標準・超低騒音型]	排ガス型(2011年規制) 山積0.5m3	時間	1			MA00202070 管理費区分 無 Z1
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						





## 集計リスト（機械損料）

コード	工事名	普通河川茂吉の沢川改修工事	当初	工事区分	河川改修			
				集計区分	機械損料			
コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
M000202090	バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型]	排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8m3	供用日	2.959			補正有り	
M000301005	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10t積級	供用日	13.364			補正有り 刊行物単価	
M000202142	バックホウ（クローラ型）[標準型]	排出ガス対策型（2014年規制）山積0.8m3	供用日	3.796			補正有り	
M000202123	バックホウ（クローラ）[後方超小旋回・超低騒音]	排出ガス対策型（2014年規制）山積0.45m3	供用日	0.156			補正有り	
M000202031	バックホウ（クローラ）[標準]	排ガス型（第1次）山積0.8m3	時間	3.522			補正有り グリーン 刊行物単価	
M000301005	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10t積級	時間	148.016			補正有り 刊行物単価	
MA00202070	バックホウ（クローラ）[標準・超低騒音型]	排ガス型（2011年規制）山積0.5m3	時間	52.587			補正有り	
M000291001	掴み装置	開口幅1700~2000mm 爪幅400~750mm	時間	52.586			補正有り 刊行物単価	



## 集計リスト(賃料)

コード	工事名	普通河川茂吉の沢川改修工事	当初	工事区分	河川改修			
				集計区分	賃料			
コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
L001005006	ブルドーザ[湿地]	7 t 級 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	日	3.477			補正有り 刊行物単価	
L001071001	振動ローラ(土工用)[フラット・シングルドラム型]	運転質量11~12 t 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	日	1.106			補正有り 刊行物単価	
L001010007	バックホウ(クローラ)[標準]	山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	日	3.892			補正有り 刊行物単価	
L001180001	タンパ及びランマ	質量 60~80kg リース置場渡し	日	0.407			補正有り 刊行物単価	
L001010004	バックホウ(クローラ)[標準・クレーン機能付き]	山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )2.9t 吊 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 クレーン建設業者置場渡し	日	2.736			補正有り 刊行物単価	

## 集計リスト（労務）

コード	工事名	普通河川茂吉の沢川改修工事	当初	工事区分	河川改修			
				集計区分	労務	単価	金額	摘要
コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
R0114	運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	人	21.741			補正有り 二省労務単価	
R0102	普通作業員	割増対象賃金比0.828	人	13.06			補正有り 二省労務単価	
R0115	運転手（一般）	割増対象賃金比0.793	人	35.848			補正有り 二省労務単価	
R0125	土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	人	11.505			補正有り 二省労務単価	
R0101	特殊作業員	割増対象賃金比0.769	人	5.762			補正有り 二省労務単価	
RR000001	その他（労務）		式	1			補正有り	

## 集計リスト(材料)

コード	工事名	普通河川茂吉の沢川改修工事	当初	工事区分	河川改修			
				集計区分	材料	単価	金額	摘要
コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
Z006702002	軽油	ミニローリー渡し	L	3,902.88			刊行物単価	
ZKD2014200	植土	黒土(フルイ) 帯広市空港南町南11線西32-1外	m <sup>3</sup>	30			地方資材単価	
Z006704001	ガソリン	レギュラー スタンド渡し 無鉛 JIS K 2202 2号	L	1.78			刊行物単価	
ZAC4102000	二重ふとんかご	50×120×200cm 線径 4.0mm 網目13cm 内張ネットを含む 内張ネット半巻	本	28			道産材 道建設部策定単価	
ZS3000004	諸雑費(まるめ)		式	1				
ZKD2056400	栗石 かごマット中詰用	5~15cm(土場 芽室・更別・豊頃・幕別・中札内・帯広)	m <sup>3</sup>	33.6			地方資材単価	
ZAC8050000	袋型根固め材	2t用 参考容量 約 V=1.25m <sup>3</sup>	袋	66.059			刊行物単価	
ZKD2052400	玉石 じゃがご・ふとんかご中詰用	15~25cm(土場 芽室、更別、豊頃、幕別、中札内、帯広)	m <sup>3</sup>	81.803			地方資材単価	
ZS8000004	諸雑費(率+まるめ)		式	1				





## 集計リスト（管理費区分別）

凡 例	管理費区分 1:現場管理費/一般管理費等対 管理費区分 9:全ての間接費対象外及び循				管理費区分 2:工場管理費/一般管理費等対 管理費区分 P:輸送に係る間接費の積算を		管理費区分 5:一般管理費等対象 管理費区分 T:処分費等対象		管理費区分 7:工場管理/間接労務/一般管	
	工事名	普通河川茂吉の沢川改修工事			当初		事業区分 工事区分	河川改修 共通仮設費		
細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 P	管理費区分 2 管理費区分 T	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9		
立木・伐開物・抜根物処分費	根、バイオフィード研究所	m3	44							

## 法定福利費概算額

### 【機械設備以外の工事】

1	主たる工種	河川工事	
2	工事価格		
3	非対象額計 ( - )		(4) + (5) + (6) + (7)
4	工場製作原価		機械設備の場合は製作原価
5	機器単体費		電気設備工事のみ
6	その他費目		VE管理費・スライド足切額等
7	業務委託料		電気設備工事のみ
8	対象額		(2) - (3)
9	法定福利費の割合		
10	法定福利費概算額		(8) × (9)

### 【機械設備工事】

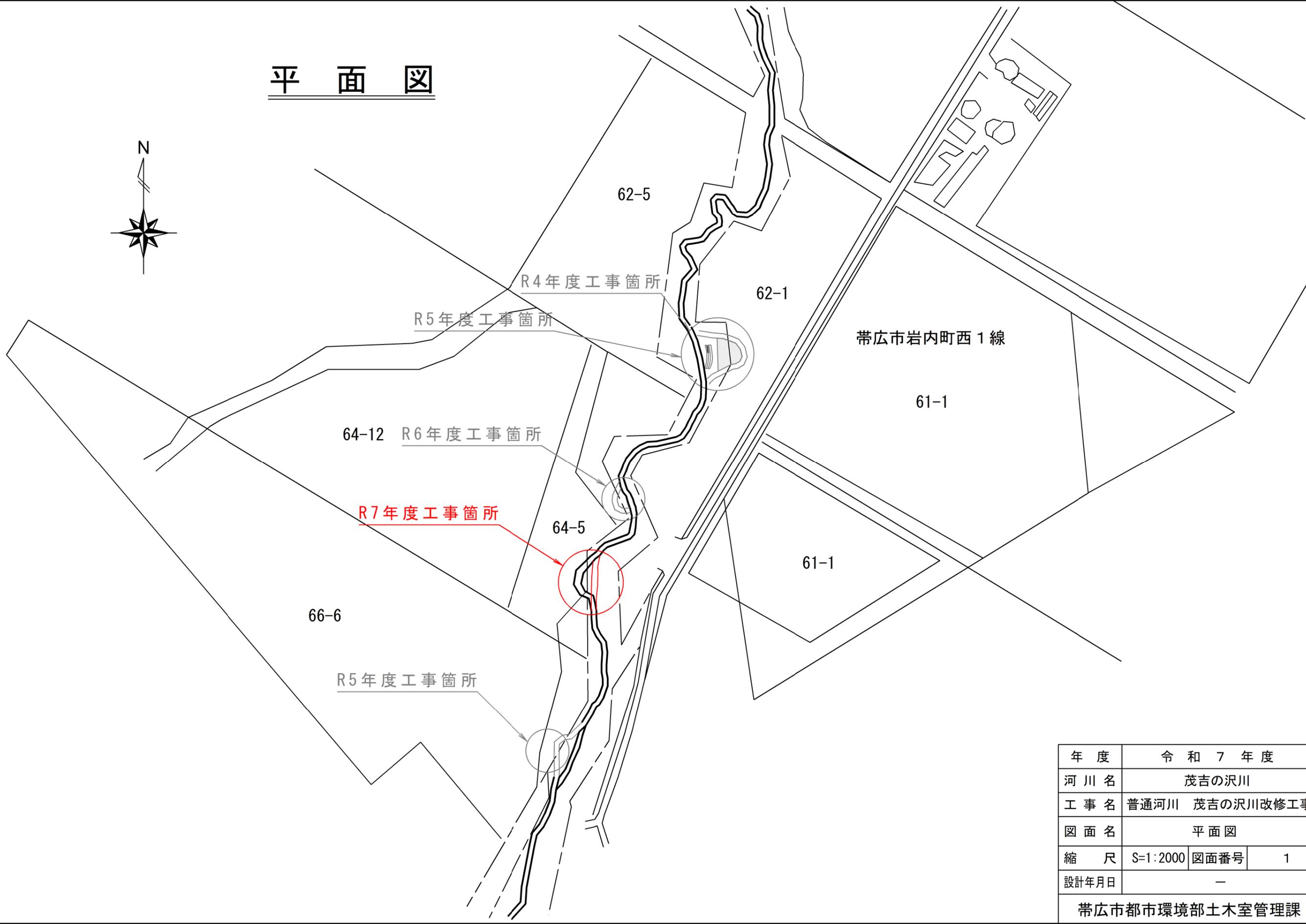
11	主たる工種		
12	据付工事原価		
13	据付工事原価に占める法定福利費の割合		
14	据付工事原価に占める法定福利費		(12) × (13)
15	製作原価		
16	設計技術費対象額		(12) + (15)
17	設計技術費対象額に占める法定福利費		(14)
18	設計技術費対象額に占める法定福利費の割合		(17) ÷ (16)
19	設計技術費		
20	設計技術費に占める法定福利費		(19) × (18)
21	工事原価		(12) + (15) + (19)
22	一般管理費等対象額に占める法定福利費		(14) + (20)
23	一般管理費等対象額に占める法定福利費の割合		(22) ÷ (21)
24	一般管理費等		
25	一般管理費等に占める法定福利費		(24) × (23)
26	法定福利費概算額		(14) + (20) + (25)

### 【合 計】

27	法定福利費概算額		(10) + (26)
----	----------	--	-------------



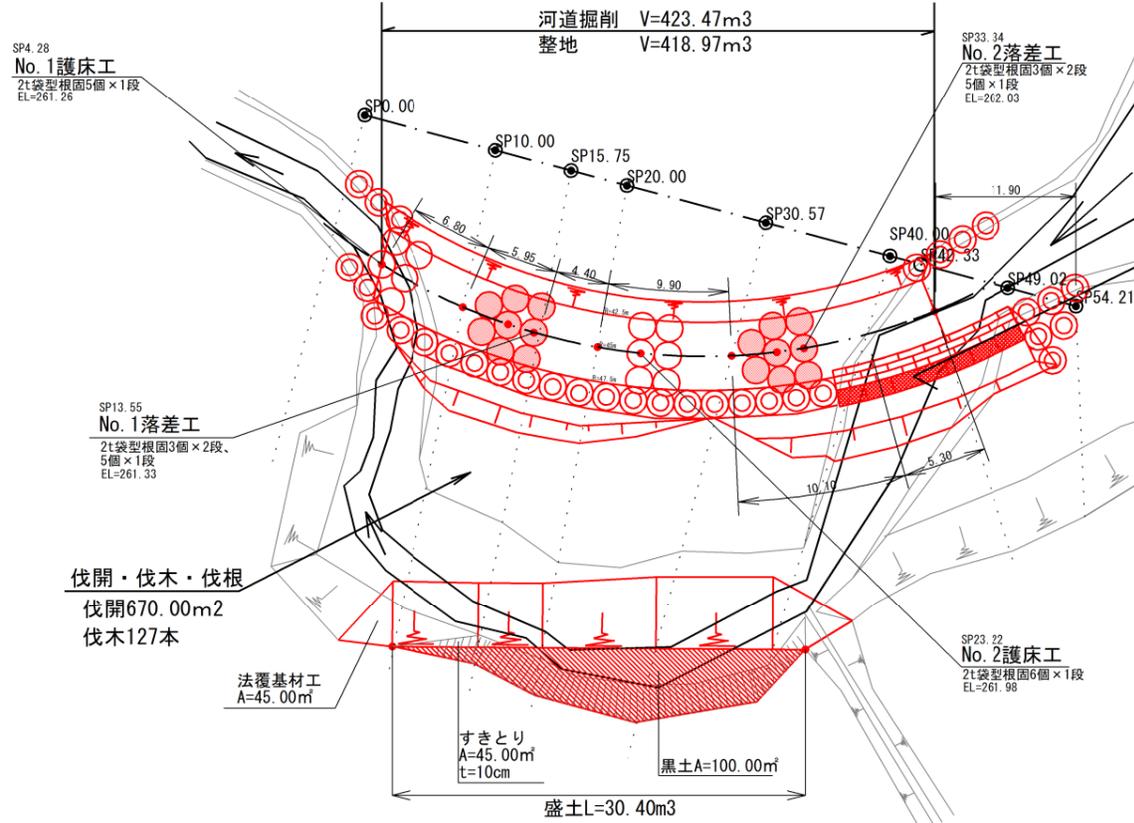
# 平面図



年度	令和7年度		
河川名	茂吉の沢川		
工事名	普通河川 茂吉の沢川改修工事		
図面名	平面図		
縮尺	S=1:2000	図面番号	1
設計年月日	-		
帯広市都市環境部土木室管理課			

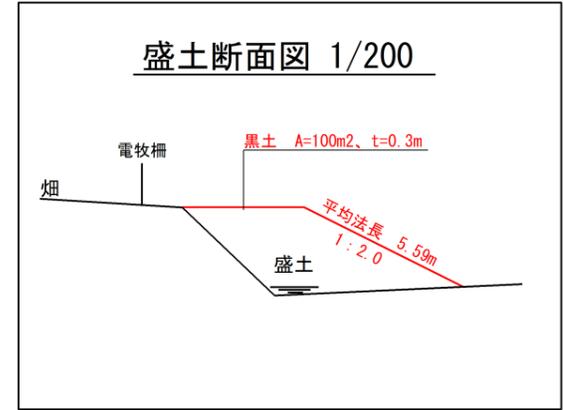
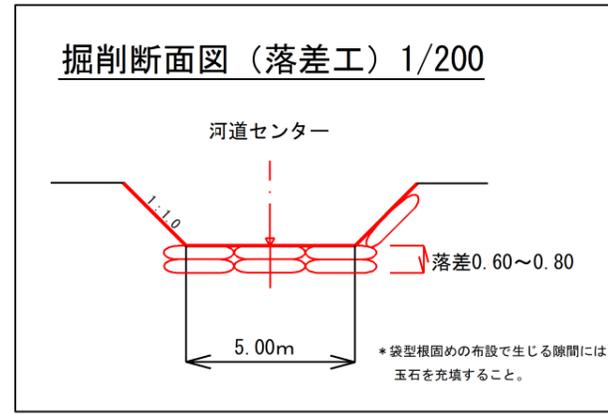
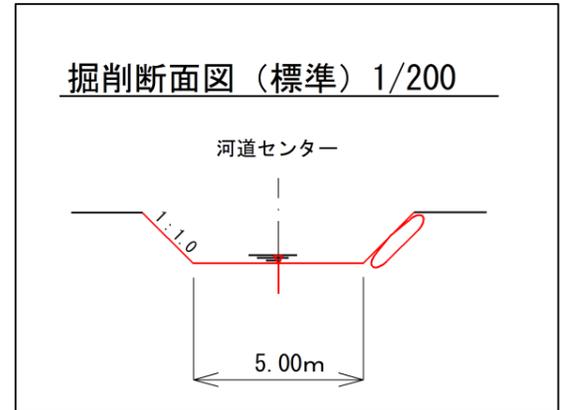
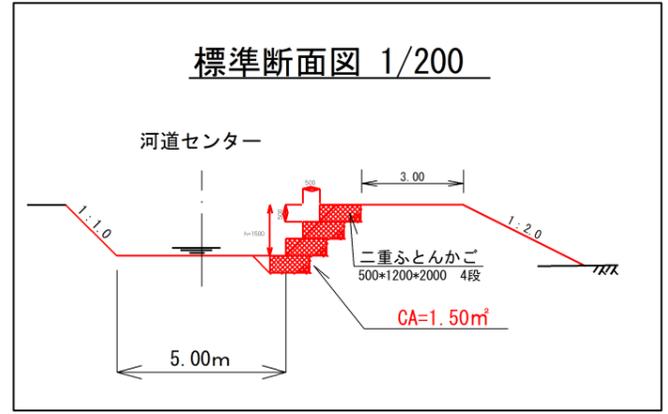


護床工・落差工 1/500

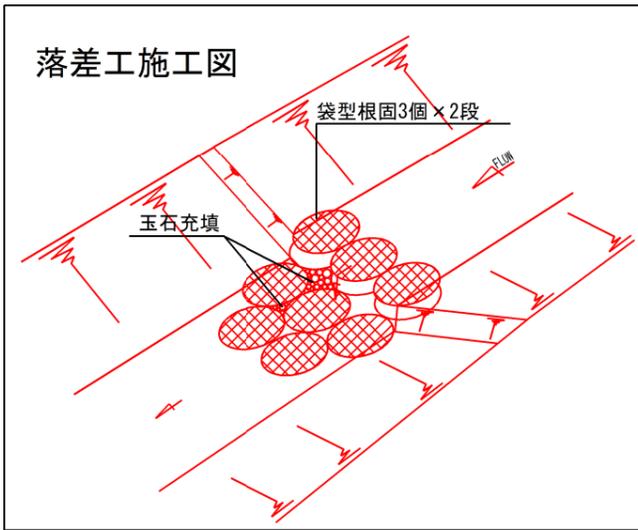


二重ふんかご工  
L=14.0m H=2.0m 4段  
(1段目L=13.86m、2段目L=14.00m、  
3段目L=14.13m、4段目L=14.26m)  
背面盛土V=55.20m3  
(4.60m2×掘削必要延長12.00m)

- 2t袋型根固 計 66個
- : 2t袋型根固 法置 (33個)
  - : 2t袋型根固 落差工 (22個)
  - : 2t袋型根固 護床工 (11個)

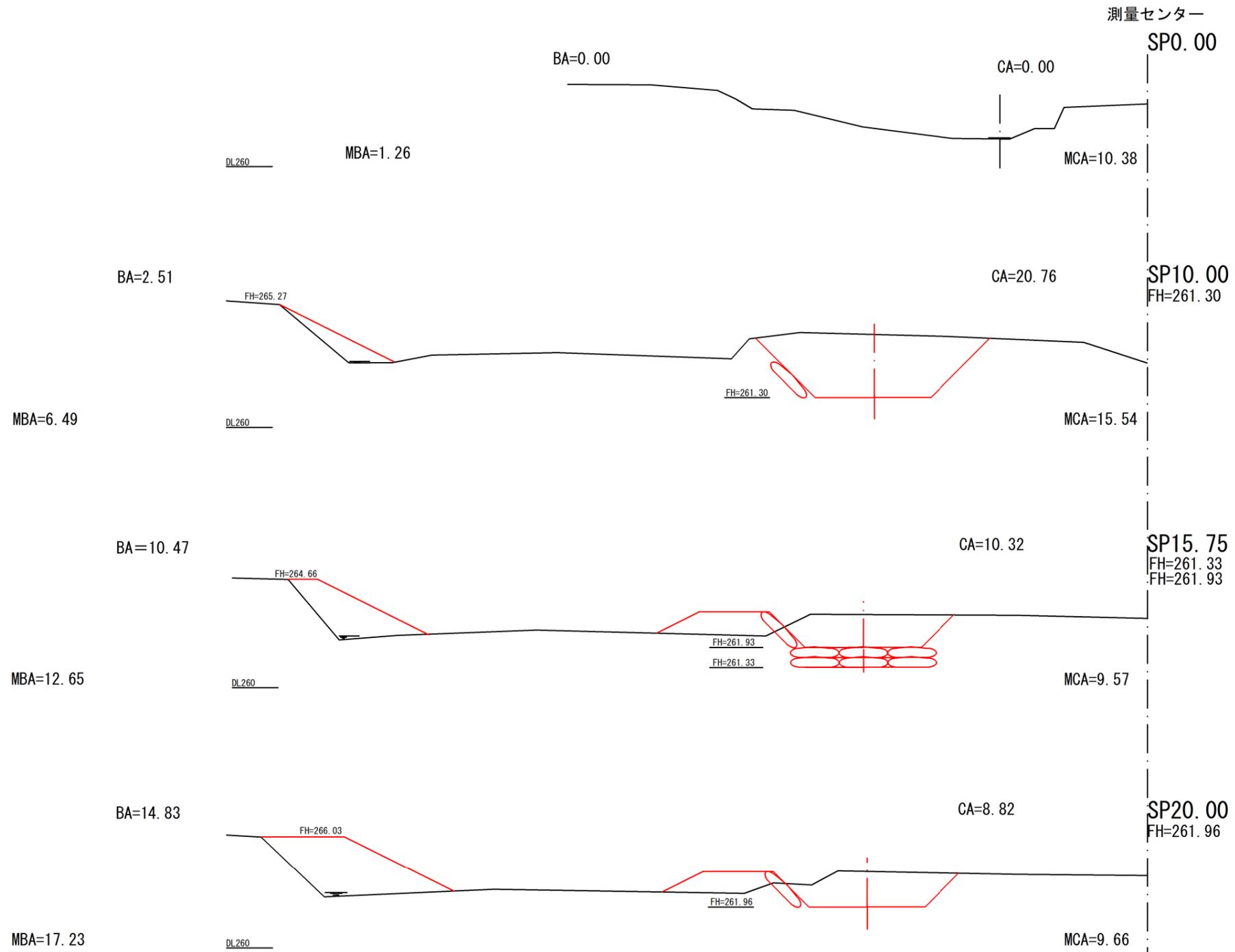


計画勾配	L=9.27m 1/132		No. 1 落差工 L=17.79m 1/178		No. 2 落差工 L=13.68m 1/137	
計画河床高	261.18	261.26	261.30	261.33	261.93	261.96
現況河床高	261.18	261.26	261.33	261.33	261.96	261.96
測点	1.29	4.28	10.00	13.55	15.55	20.00
						23.22
						30.57
						33.34
						35.34
						40.00
						42.33
						49.02
						54.21



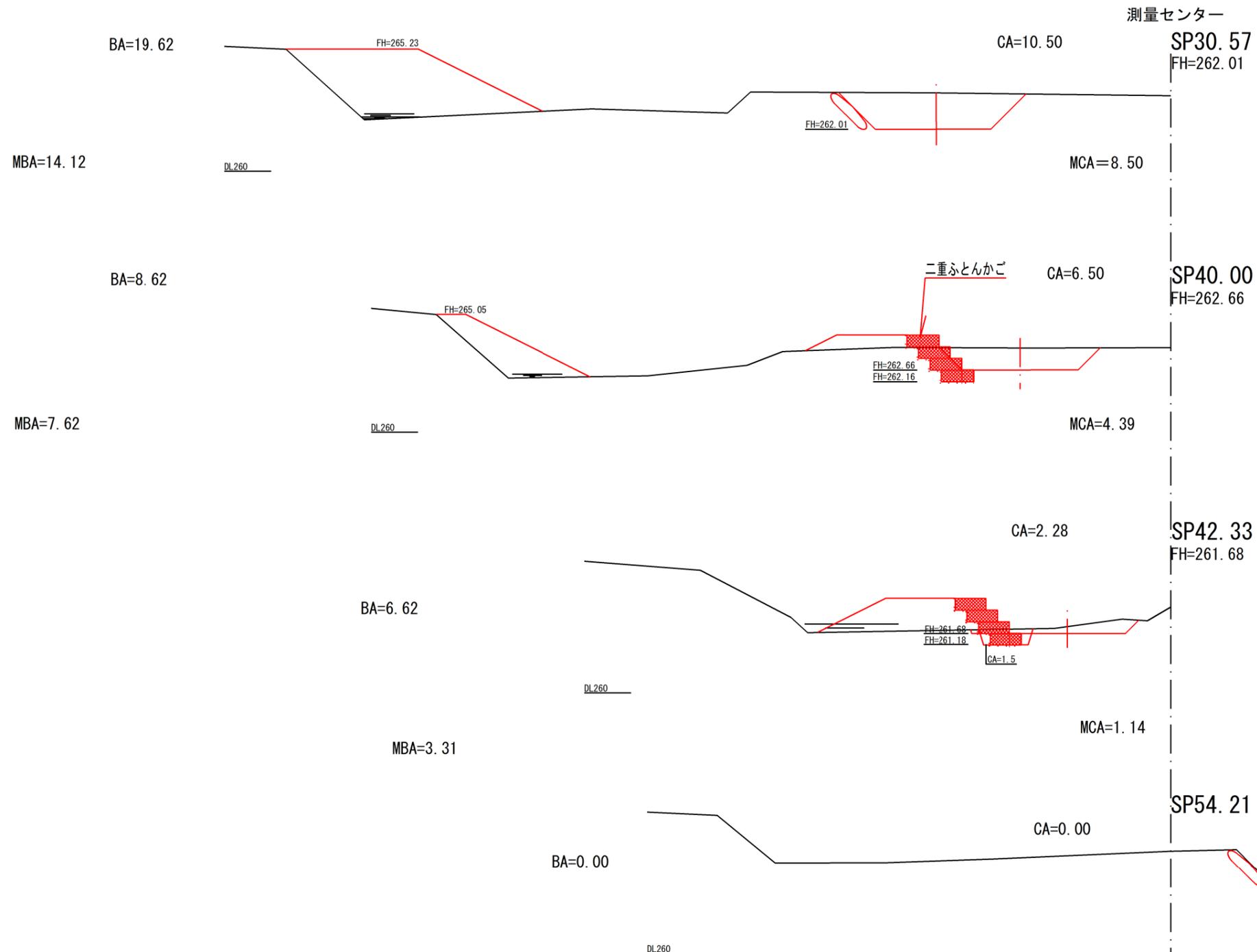
年度	令和7年度		
河川名	茂吉の沢川		
工事名	普通河川 茂吉の沢川改修工事		
図面名	構造図・詳細図		
縮尺	図示	図面番号	2
設計年月日	-		
帯広市都市環境部土木室管理課			

# 横断図(1) 1/200



年度	令和7年度		
河川名	茂吉の沢川		
工事名	普通河川 茂吉の沢川改修工事		
図面名	横断図(1)		
縮尺	図示	図面番号	3
設計年月日	-		
帯広市都市環境部土木室管理課			

# 横断図(2) 1/200



年度	令和7年度		
河川名	茂吉の沢川		
工事名	普通河川 茂吉の沢川改修工事		
図面名	横断図(2)		
縮尺	図示	図面番号	4
設計年月日	-		
帯広市都市環境部土木室管理課			